2023

# 2023 熊本学園大学
# 大学院案内

KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

## 熊本エリア・アクセスマップ

九州の南北をつなぐ九州新幹線が通り、各県からのアクセスも抜群。
阿蘇や天草の大自然に囲まれ、豊かな河川が流れる学びの環境に恵まれた熊本です。




### 熊本桜町バスターミナルより

■車利用／約15分
■熊本都市バス利用／15のりば 約20分
◎子飼渡瀬線（こかいわたるせせん）
バス停「学園大前」下車すぐ
◎大江城西線（おおえじょうせいせん）
バス停「学園大前」下車すぐ
◎渡鹿長嶺線（とろくながみねせん）
バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
◎東西線（とうざいせん）
バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
■産交バス利用／15のりば 約20分
◎熊本整形外科・託麻原本通経由
バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
◎子飼・託麻原本通経由
バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

### 九州新幹線・JR鹿児島本線 熊本駅より

■車利用／約15分
■熊本都市バス利用／6のりば白川口（東口）約20分
◎熊学ライナー熊本駅ー熊学ノンストップ
バス停「学園大（キャンパス内）」下車
◎第一環状線（大学病院回り）
バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
◎中央環状線（大学病院回り）
バス停「学園大前」下車すぐ

### JR豊肥本線 水前寺駅より

■徒歩／北口より約10分
■熊本都市バス利用／北口より約3分
◎大江城西線…バス停「学園大前」下車すぐ

### 熊本市電

◎電停「味噌天神前」下車徒歩約15分

### 九州自動車道

■車利用／熊本ICより約15分

### 熊本空港より

■車利用／約30分
■空港バス利用／約30分
◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分

### 熊本駅直通のシャトルバス「熊学ライナー」

JR熊本駅～本学間をノンストップで結ぶ
シャトルバスを運行しています。
（運賃片道100円、土日祝は運休）



※大学発は水道町バス停（降車のみ）を経由します。

2022年5月現在の情報です。


KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY
熊本学園大学

大学院事務室

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1
TEL 096-371-8036
FAX 096-364-5170
https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/
E-mail:daigakuin@kumagaku.ac.jp


【学校法人 熊本学園】
熊本学園大学・大学院
熊本学園大学付属高等学校
熊本学園大学付属中学校
熊本学園大学付属敬愛幼稚園

大学基準協会
UNIVERSITY ACCREDITED 2016.4–2023.3

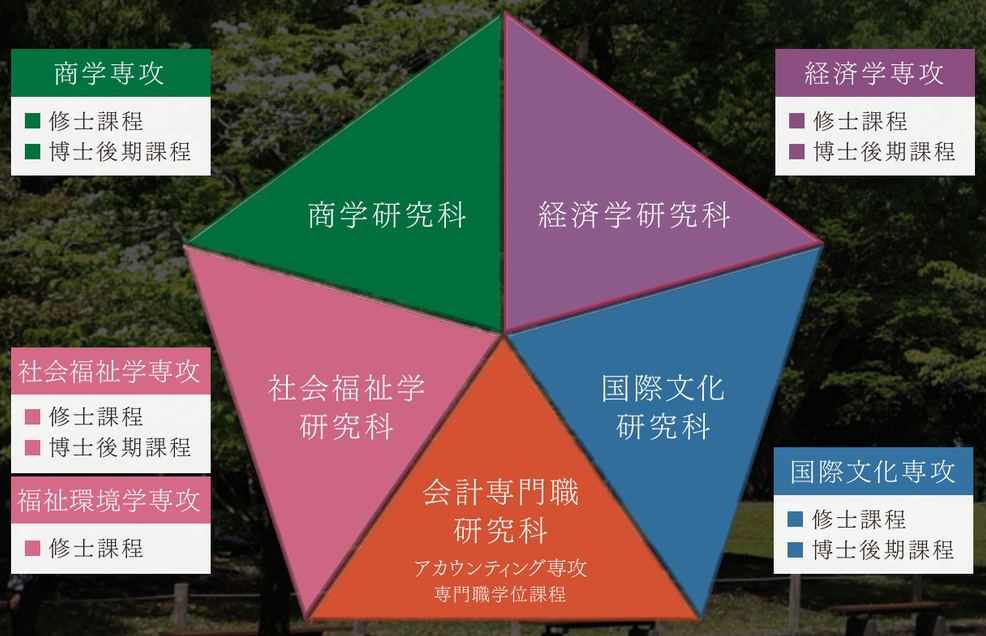
2015年度に財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を申請し、「大学基準に適合している」との認定を受けました。



# グローバル化の進展に対応し、その先を歩む
# 高度な知識と教養を身につけた人材を育成します。

大学の学部教育で得た知識を基礎とする、より高度な学修の場。
熊本学園大学大学院は1988(昭和63)年に商学研究科を設置以来、経済学、国際文化、社会福祉学、
会計専門職の分野へと門戸を広げ、数多くの高度専門職業人や研究者を輩出してきました。

## 熊本学園大学 大学院




※会計専門職研究科については
会計専門職研究科のパンフレットをご覧ください。

## 修士課程

### 履修ガイド

1 専修科目1科目(入学試験の際に希望した専修科目)を自己の専修科目として2年以上履修し、各研究科が定める方法により、30単位以上(経済学研究科は32単位以上)を修得しなければなりません。

2 専修科目の担当教員を研究指導教員として、授業科目の選択、修士論文の作成、その他研究全般にわたって指導を受けます。

3 修士論文は、専修科目について提出します。

### 修了要件

2年以上在学し、かつ所定の単位を修得したうえ、修士論文の審査並びに最終試験に合格する必要があります。合格した方には修士の学位が授与されます。

### 学位授与までのプロセス

**1年次**
- 研究指導教員による指導のもと、各自の研究テーマを決定します。
- 修士論文テーマ及び内容に従い、指導体制(副査2名)を確定します。
- 公開の研究経過報告会(第1回口頭発表)で研究経過報告を行います。

**2年次**
- 研究指導教員による研究指導のもと、研究の具体化、深化をはかります。
- 公開の中間報告会(第2回口頭発表)で研究経過報告を行い、修士論文の完成を目指します。
- 修士論文提出
- 修士学位論文審査(論文審査及び口述試問)
- 合否判定

学位授与

## 博士後期課程

### 履修ガイド

1 専修科目1科目(入学試験の際に希望した専修科目)を自己の専修科目として3年以上履修し、研究指導教員の指導を受けることによって12単位を修得しなければなりません。

2 専修科目の担当教員を研究指導教員として、学位論文の作成、関連する他の研究指導科目及び講義科目の受講、その他研究全般にわたって指導を受けます。

3 博士の学位論文は、専修科目について提出します。

### 修了要件

3年以上在学して所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査並びに最終試験に合格する必要があります。合格した方には博士の学位が授与されます。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた方については、1年以上在学すれば修了が可能です。

### 学位授与までのプロセス

**1年次**
- 春学期 ● 研究指導教員による指導のもと、各自の研究テーマを決定します。
- 春学期 ● 研究計画書(長期計画、年次計画)を作成します。
- 春学期 ● 学位論文テーマ及び内容に従い、指導体制(副査2名)を確定します。(論文指導委員会による研究指導へ)
- 秋学期 ● 公開の研究経過報告会(第1回口頭発表)で研究経過報告を行います。

**2年次**
- 春学期 ● 研究指導教員による研究指導のもと、研究の具体化、深化をはかります。
- 秋学期 ● 公開の研究経過報告会(第2回口頭発表)で研究経過報告を行います。
- 秋学期 ● 博士学位論文テーマの最終決定、博士学位論文の完成を目指します。

**3年次**
- ● 研究指導教員による研究指導のもと、研究の具体化、深化をはかります。
- ● 論文指導委員会による総合的な学位論文のチェックを受け、最終段階へ向かいます。
- ● 論文予備審査の申請を行います。
- ● 審査の結果が可であれば、博士学位論文提出します。
- ● 博士学位論文審査(論文審査及び口述試問)
- ● 合否判定

学位授与

■シラバス・担当者一覧はホームページで　熊本学園大学大学院　検索　https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/

## CONTENTS


03 大学院の特徴
05 商学研究科
07 経済学研究科
09 国際文化研究科
11 社会福祉学研究科
13 支援制度／奨学制度
14 納入金
15 大学院生メッセージ
16 修了生メッセージ
17 学位／教員免許／学生数・修了者数／キャンパスカレンダー
18 施設概要
19 入試概要
21 演習の内容／開設科目一覧

# 熊本学園大学大学院の　学びの環境と制度について

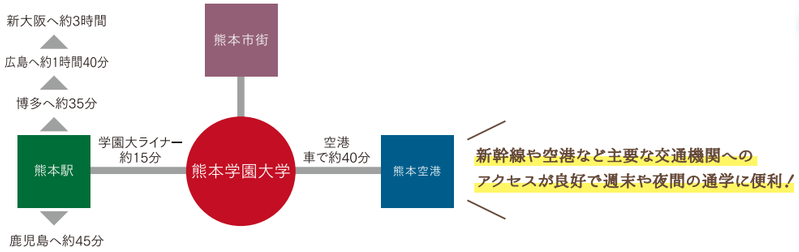
## Feature.1 学部教育をさらに深化

大学院は、大学の学部教育で得た知識や技術をより深めたいと希望する方へ提供する高度な学修の場。学部教育で修得した基本的知識や経験を土台とした確かな基礎の上に、更に理論と実践に関する学術分野の総合的な研究・教育を行うことで、高い研究能力と教育的指導力を具えた実践力豊かな人材を養成することが目的です。また、様々な年代・背景の学生が学ぶため、学びの多様性を向上させることもできます。昭和63年に商学研究科を設置して以来、商学、経済学、国際文化、社会福祉学、更には会計専門職の分野へと門戸を広げています。その歴史の中、各方面へ数多くの高度専門職業人や研究者を輩出してきました。昭和17年創立、長い歴史と実績を持つ学校法人熊本学園。その中で大学院は、商学部、経済学部、外国語学部、社会福祉学部の学士課程（学部）の教育と密接に連携し、より深化させた研究と教育を目指しています。

大学の学部教育での知識・技術
↓
理論と実践に関する学術分野の総合的な研究・教育
↓
より深化させた研究と教育

### 熊本学園大学の立地と環境

熊本学園大学のある熊本市は九州のほぼ中央部に位置し、新大阪駅から熊本駅までは新幹線で最短約3時間。九州各県へのアクセスもスムーズ＆スピーディーな立地です。また学園大から市街地や観光スポットへも間近、熊本駅からは便利なシャトルバスが出ており、県外からも通学しやすく暮らしやすい環境にあります。







### 時間割モデル　〈修士課程 社会福祉学研究科 専修科目（精神保健福祉学） 長期履修生〉

▶ 1年次

| 時限 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前 | 地域社会専門研究［春学期］<br>精神保健福祉学専門研究<br>［秋学期］ | 社会福祉学・福祉環境学<br>方法論専門研究［春学期］ | 地域福祉論専門研究<br>［春学期］ | 福祉臨床と心理学専門研究<br>［春学期］<br>環境生命学専門研究［秋学期］ | |
| 後 | 精神保健福祉学<br>専門研究演習［通年］ | 保育学専門研究［秋学期］ | | | |
| 集中 | 社会調査方法論専門研究［春学期土曜日集中］　福祉環境学フィールドワークⅠ（水俣地域・不知火海、実地調査・ワークショップ）［夏期休業期間］ | | | | |

▶ 2年次

| 時限 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前 | ソーシャルワーク方法論<br>専門研究［秋学期］ | 生活環境論専門研究<br>［春学期］ | | 高齢者福祉論専門研究<br>［春学期］<br>社会福祉学専門研究［秋学期］ | 健康教育学専門研究<br>［秋学期］ |
| 後 | 精神保健福祉学<br>専門研究演習［通年］ | 障害学専門研究<br>［春学期］ | | 環境マネジメント論<br>専門研究［秋学期］ | 社会政策専門研究<br>［秋学期］ |
| 集中 | 社会福祉方法論専門研究［夏期休業期間中4日間］ | | | | |

▶ 3年次

| 時限 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 後 | 精神保健福祉学<br>専門研究演習［通年］ | | | | |

## Feature.2 仕事をしながらでも大学院へ通えます

社会状況が複雑・多様化する現代。職業に就いた社会人であっても、大学での学び直しを希望する方が増えています。その中には大学を卒業して就職した後、現場の具体的な問題に触れて更なる研究の必要性を感じた方も少なくありません。本学には、そのようなニーズに応え、社会人の大学院進学を支援するため、長期履修制度があります。併せて社会人入試を全研究科修士課程で実施することで、仕事をしながら限りある時間内で学ぶ方々を力強くバックアップしています。社会での実務経験のある方々に対して、広く教育の機会を提供することは幅広い人材の受け入れにも繋がり、学びの場も大いに活性化しています。様々なバックボーンを有する方々が、今日まで育んだ自らのキャリアを活かしつつ、高度かつ専門的な職業能力を獲得されんことを期待します。

現場での具体的な課題
社会での経験
＋
大学院での学び
↓
高度で専門的な職業能力の獲得

### 学びの環境について

平日昼間に限らず、夜間や土曜日などに開講される科目も数多くあり、自分の仕事形態にあわせて履修登録をすることが可能です。また、指導する教員との距離感が近いことも魅力のひとつです。先生とじっくり話をする機会は学部生時代ではなかなかありません。

### 社会人への就学支援制度が充実しています

修士課程に進学する方のうちほぼ半数は社会人入試制度を利用して入学しています。社会人入試は秋季と春季の年2回実施され、ご自身の都合にあわせて入試の時期を選択することができます。

### 教育訓練給付で経済的な補助が受けられます

本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金（上限10万円）を受給できます。

※詳細は13ページに記載しています。（長期履修生は、教育訓練給付制度の申請ができません）

### ゆとりをもって学べる長期履修制度

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、修業年限を延長して履修できる制度です。じっくりとゆとりをもって学びたい方におすすめです。

■ 修士課程
1年 2年
1年 2年 3年

■ 博士後期課程
1年 2年 3年
1年 2年 3年 4年 5年

修業年限を修士課程は2年を3年、
または博士後期課程は3年を5年に
することで、ゆとりを持った履修計画を
たてることができます。
授業料も分割されるので、
経済的にも負担が軽くなります。

### 長期履修生の声



Student's Voice

**現在の職場で実践的に生かせる専門知識を、働きながら身に付ける！**

私は6年間保育士を経験した後、異動により地域療育を担当することになりました。そこで、先進的な知識の習得と、特別な支援が必要な子どもや保護者への支援方法を自分なりに考えたいと考え、大学院への進学を検討しました。長期履修制度を選んだのは、職場が上天草市と遠いため仕事をしながら毎日通うのが難しく、無理なく余裕を持って授業を受けたいと考えたからです。

働きながらの通学は時間や体力的に厳しいと感じることもありますが、それ以上に、学びたいことを十分に突き詰めることができる環境で得られるものが大きいと感じています。現在は、自分の仕事と結びつけられる「特別な支援を必要とする子どもをもつ保護者へのアプローチ」について研究をしています。保護者参加型の実践事例を参考にしているため、保護者へのアプローチという面に絞って研究しています。この学びを深め、まずは現在の職場で実践して経験を重ね、還元していきたいです。長期履修制度は、仕事をしながら専門性も高めることができ、自分の自信にもつなげられる選択肢だと思います。

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 3年　秋月 克敏さん

*Graduate School of Commerce*

# 商学研究科

商学専攻 修士課程 博士後期課程

## 教育理念・目的

商学研究科は、経済のグローバル化をはじめとして企業を取り巻く環境の高度化・複雑化に対応すべく、企業はもとより地方自治体や非営利組織において自らの能力を発揮し地域社会の活性化に貢献しうる高度専門職業人の養成、並びに流通・マーケティング、ファイナンス・会計、経営・情報の世界について高度な理論的・実践的知識を基に自立して創造的な研究活動に従事する研究者の養成を目的とします。

## 三つのポリシー

### 学位授与の方針
［ディプロマ・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院商学研究科修士課程においては、2年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した者に対して、以下の能力を身につけているものと判断して、修士(商学)の学位を授与します。

①商学や経営学についての幅広い知識を有している。

②企業を取り巻く環境の高度化・複雑化に対応した現状把握と分析ができる。

③自身の研究内容を商学や経営学の理論や方法論の中で位置づけることができ、研究テーマに応じて説得力のある論文として構築できる。

#### 博士後期課程

本学大学院商学研究科博士後期課程においては、3年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した者に対して、以下の能力を身につけているものと判断して、博士(商学)の学位を授与します。

①商学や経営学全般についての深い学識を有している。

②企業を取り巻く環境の高度化・複雑化に対応できる専門的な分析能力を有している。

③商学や経営学に関する専門分野について、論理的、または実証分析に基づいた高度な研究が行え、かつ、その成果を独創性のある研究論文として作成することができる。



### 教育課程編成・実施の方針
［カリキュラム・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院商学研究科修士課程においては、学位授与の方針に定めた能力、及び商学や経営学に関する理論と研究方法を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①商学や経営学に関する幅広い知識を身につけるとともに、専門分野についての専門知識を涵養するため、科目を「流通・マーケティング」「ファイナンス・会計」「経営・情報」に分類し、体系的な科目の配置を行っています。

②企業などで即戦力として活躍するための知識や技術を涵養するため、「ビジネススキル科目」やビジネス特講科目を用意しています。

③商学や経営学の基礎が不十分な他学部出身者や社会人を対象とした「フォローアップ科目」を用意しています。

④商学や経営学と関連の深い法律関係の科目を「関連学科目」として用意しています。

⑤修士論文、及びリサーチペーパーの指導は、指導教員を中心に複数の教員が集団で指導する体制を構築します。これにより、研究課題に対して多角的にアプローチすることができるようになり、修士として必要な研究能力を涵養します。さらに経過報告(中間発表)を実施し、指導教員から的確な助言・指導を受けて修士論文の完成を目指します。

#### 博士後期課程

本学大学院商学研究科博士後期課程においては、学位授与の方針に定めた能力、及び商学に関する高度で専門的な理論と研究方法を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①商学や経営学に関する高度な専門知識と、専門分野についての高度な研究能力を涵養するため、科目を「流通・マーケティング」「ファイナンス・会計」「経営・情報」に分類して配置しています。

②専門分野の研究については、3年間を通じた一貫性のある研究指導を行うとともに、専門分野だけの研究に偏ることのないよう、関連する科目についても履修することができるようにしています。

③博士論文の指導は、指導教員を中心に複数の教員が集団で行う体制を構築し、博士に求められる高度な研究能力を涵養します。また、複数回に渡って報告会を実施し、研究の進捗状況を確認しながら的確な助言・指導を行うことで博士論文の完成を目指します。

### 入学者受入れの方針
［アドミッション・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院商学研究科修士課程においては、入学前に商学や経営学に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有し、以下のいずれかに興味・関心を持つ方を受け入れます。

①急速に進むビジネス世界において、グローバリゼーションに対応できる専門知識・能力を持ったビジネス・パーソンを目指す方。

②高度化するビジネス社会において必要不可欠な現代経営学について学び、即戦力として活躍できる高度な専門知識を身につけたい方。

③地域社会の活性化に貢献したいと考えている方。

④商学や経営学について、より深く学びたい方。または商学や経営学について学び直したい方。

なお、入学者選抜については、基礎的知識(学部卒業程度)を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記①から④に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

#### 博士後期課程

本学大学院商学研究科博士後期課程においては、入学前に商学や経営学に関する専門知識(修士課程修了程度)を有し、以下のいずれかに興味・関心を持つ方を受け入れます。

①商学や経営学に関する高度な専門知識を身につけ、国際基準の視野と感覚を持つスペシャリストとして社会に貢献し、活躍したいと考えている方。

②商学や経営学の研究者を目指す方で、研究を遂行するのに十分な知識と能力を身につけることができる方、またはそのための努力を惜しまない熱意のある方。

なお、入学者選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記①から②に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。



## 商学研究科の特徴

### 商学研究科が誇る3つの柱

本学の前身である「熊本商科大学」設立以来、半世紀以上の歴史と伝統をもつ商学部。その上に成り立つ商学研究科は昭和63年の大学院設置の際に誕生した最も伝統のある研究科です。その研究科を支えるのは流通・マーケティング、ファイナンス・会計、マネジメント・情報の3つの柱です。




## 時間割モデル 〈修士課程 専修科目(財務会計論)〉

▶ 1年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | 経営財務論特殊研究[通年] |
| 3 | | | | | 金融論特殊研究[通年] |
| 4 | | 財務会計論特殊研究[通年] | | | |
| 5 | | | | | 財務会計論特殊研究演習[通年] |
| 前 | ブランドマーケティング論特殊研究[通年] | 情報管理[春学期] | ビジネス・リテラシーII[秋学期] | | |
| 後 | | ビジネス法基礎特殊研究[春学期] | | | |

▶ 2年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | 会計学原理特殊研究[通年] | |
| 4 | | | | | 財務会計論特殊研究演習[通年] |

### 研究科長メッセージ *Professer'sMessage*



■ 商学研究科長
今村 寛治 教授

■ 担当科目
労務管理論特殊研究・演習
労務管理論研究指導・演習

*Message*

**ビジネスを多角的な視点から捉える力を養成。広範な知識と能力を身につけよう。**

商学研究科は、企業を取り巻く環境の高度化・複雑化に対応できる人材の育成を目指しています。激変するビジネス社会においては、既存の知識を身につけることはもとより、それらを基礎として「自らが考え、課題を解決していく能力」が求められます。商学研究科では、「流通・マーケティング」「ファイナンス・会計」「マネジメント・情報」の各分野における専門知識を身につけるだけでなく、広い意味での商学に関する体系的な理解を重視します。体系的に理解した知識こそが、真に応用力を持った基礎となるのです。大学院で身につけた高度な専門知識をもって、現在の職場におけるスキルアップや地域社会の活性化に貢献したい方、世界で活躍する意欲のある方、理論的・実践的な知識をさらに発展させ、創造性のある研究活動に従事する研究者を志す方の入学を心よりお待ちしています。

## 就職DATA 【主な進学・就職先の実績(現職継続者含む)】

**進学** 熊本学園大学大学院商学研究科博士後期課程、熊本学園大学大学院経済学研究科修士課程、熊本学園大学大学院商学研究科研究生(修士課程・博士後期課程)

**就職** 株式会社愛歯、吉田通信株式会社、株式会社木村、株式会社本田、旭川大学(教員)、公立大学法人名桜大学(教員)、大阪経済大学(教員)、熊本学園大学(教員)、熊本県高等学校教員(商業)、税理士法人九州合同税務会計権藤説子事務所、木村税理士事務所、星田税理士事務所、有限会社小野会計センター、神鳥会計事務所、井手税理士事務所、小屋敷順子税理士事務所、TKTコンサルティング株式会社、マルキン食品株式会社、島元経営株式会社、柳瀬博史税理士事務所、大藏裕史税理士事務所

*Graduate School of Economics*

# 経済学研究科

経済学専攻 修士課程　博士後期課程

## 教育理念・目的

経済学研究科は、経済社会の国際化・情報化への機敏な対応が迫られているなか、地域経済の発展のために高度な専門能力を発揮しうる指導的職業人の養成、経済理論の確かな基礎の上に経済学各分野の一層の新展開を目指す研究者の養成、税理士・地方公務員・中高校教員など専門的技能や資格を身につけた社会貢献者の養成を目的とします。



## 三つのポリシー

### 学位授与の方針
［ディプロマ・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院経済学研究科修士課程においては、2年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した者に対して、以下のいずれかの能力を身につけているものと判断して、修士（経済学）の学位を授与します。

①経済学全般についての幅広い知識のもと経済学の理論や方法論を駆使して経済を分析・解明することができる専門知識と能力。

②高度情報社会の中、統計情報に対する処理や計量経済分析のできる専門知識と能力。

③日本経済や世界経済を経済史の側面から分析することのできる専門知識と能力。

④財政・金融・法の専門知識のもと税理士、公的機関での専門職（国家公務員、国税専門官、地方公務員）に対応できる能力。

⑤地域経済の発展や国際的な舞台での活躍のために必要な経済学の高度な専門知識と分析手法を応用することのできる能力。

⑥自身の研究内容を経済学の理論や方法論の中で位置づけ、研究テーマに応じて説得力のある論文として構築できる能力。

#### 博士後期課程

本学大学院経済学研究科博士後期課程においては、3年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した者に対して、以下の能力を身につけているものと判断して、博士（経済学）の学位を授与します。

①経済学全般について深い学識を有する。

②経済学の理論・歴史の専門分野において複雑な経済現象に対する理論・実証分析や史資料分析、文献考察に基づいた高度な研究活動を行い、かつ、独創的な論文を作成できる。

③経済学の地域・開発政策の専門分野において高度な専門知識に基づいて複雑な経済現象に対する実証分析を行って課題を解決することができ、かつ、独創的な論文を作成できる。

### 教育課程編成・実施の方針
［カリキュラム・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院経済学研究科修士課程においては、学位授与の方針に定めた能力、及び経済学に関する理論と研究方法を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①経済学に関する幅広い知識を身につけるとともに、専門分野についての専門知識を涵養するため、科目を「経済理論」「経済史」「財政・金融」「政策・地域」「国際関係」に分類し、専門科目の配置を行っています。

②経済のグローバル化に対応した幅広い国際的な研究のために、また、経済学の研究（論文読解）のために「外国文献特殊研究」を必修科目として配置しています。

③税理士志望者及び公務員志望者に対応した科目として「現代社会問題特殊研究」や「経済問題解法特殊研究」などの科目を「関連学科目」として配置しています。

④修士論文の指導は、指導教員を中心に複数の教員が集団で指導する体制を構築します。これにより、研究課題に対して多角的にアプローチすることができるようになり、修士として必要な研究能力を涵養します。さらに経過報告（中間発表）を実施し、指導教員から的確な助言・指導を受けて修士論文の完成を目指します。

#### 博士後期課程

本学大学院経済学研究科博士後期課程においては、学位授与の方針に定めた能力、及び経済学に関する高度で専門的な理論と研究方法を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①カリキュラムを「経済理論・経済史分野」及び「地域・開発政策分野」に分類して編成しています。

②専門分野の研究については、3年間を通じた一貫性のある研究指導を行うとともに、専門分野の研究をいっそう深めるために、関連する科目についても履修することができるようにしています。

③博士論文の指導は、指導教員を中心に複数の教員が集団で行う体制を構築し、多角的な視点から研究する能力を涵養します。また、複数回に渡って報告会を実施し、研究の進捗状況を確認しながら助言・指導を行うことで博士論文の完成を目指します。

### 入学者受入れの方針
［アドミッション・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院経済学研究科修士課程においては、入学前に経済学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有し、以下のいずれかに興味・関心を持つ方を受け入れます。

①現代社会にある様々な問題について、経済学の専門知識を駆使してそれらの問題を解決していく意欲と熱意を持って社会に貢献したい方、または経済学に関心を持ち高度な知識を学びたい方。

②経済学や、それに関連する専門的知識を学び、高度な専門的職業人として活躍したい方、または、指導的立場で企業や地方自治体などで活躍したい方。

③研究者を目指し、博士後期課程への進学を目指す方。

なお、入学者選抜については、基礎的知識（学部卒業程度）を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記①から③に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

#### 博士後期課程

本学大学院経済学研究科博士後期課程においては、入学前に経済学に関する専門知識（修士課程修了程度）を有し、以下のいずれかに興味・関心を持つ方を受け入れます。

①経済学に関する高度な専門知識を身につけ、エコノミストとして社会に貢献し、活躍したいと考えている方。

②経済学の研究者を目指す方で、研究を遂行するのに十分な知識と能力を身につけるための努力を惜しまない熱意のある方。

なお、入学者選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記①または②に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。



## 経済学研究科の特徴

成熟段階に達し、ダイナミズムを失った日本経済の現状を的確に把握し、家計、企業、政府のとるべき方向を正しく設定するうえで、経済学が果たす役割は重大です。経済のグローバル化は日本経済を大きく巻き込み、地域経済もその影響を免れることはできません。このような時代のキーワードが「グローカル」です。地方の大学は、広く世界を視野に収めながら、地域の実情にも目を配り、地域との連携を深めるところにその固有の存在意義があります。

修士課程ではグローバル化に対応して「外国文献特殊研究」を必修科目に据え、「貿易論特殊研究」「開発経済論特殊研究」「国際経済法特殊研究」等を開講しています。同時に地域に視点を定めた「経済政策論特殊研究」「地域経済論特殊研究」「環境経済論特殊研究」等を開講しています。また、公務員、税理士志望者が多いことに配慮して、「経済問題解法特殊研究」「財政学特殊研究」「税法特殊研究」「企業法特殊研究」等も開講しています。

博士後期課程は経済学研究の一層の深化を志す人たちのための研究の場であり、教員の懇切な指導のもとに、学位の取得を目指して論文の作成に取り組みます。「博士」の学位は、研究者として自立できる学力を証明するものであり、学位取得者の多くは大学や研究所に就職し、研究者の道を歩んでいます。

**修士課程**

【開設科目区分】
経済理論
経済史
財政・金融
政策・地域
国際関係

→

【修士論文】
専門性
オリジナリティ
↓
専門的職業適性

**博士後期課程**

【開設科目区分】
経済理論・
経済史分野
地域・
開発政策分野

→

【博士論文】
高度の専門性
オリジナリティ
↓
研究職適性

## 時間割モデル　〈修士課程 専修科目（財政学）〉

▶ 1年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | 社会思想史特殊研究［春学期週 2回］ |
| 2 | | | | | | 社会思想史特殊研究［春学期週 2回］ |
| 3 | 経済政策論特殊研究［秋学期週2回］ | | | | 開発経済論特殊研究［春学期週 2回］ | 財政学特殊研究［春学期週 2回］ |
| 4 | 経済政策論特殊研究［秋学期週2回］ | | | | 開発経済論特殊研究［春学期週 2回］ | 財政学特殊研究［春学期週 2回］ |
| 5 | | | | | | 財政学特殊研究演習［通年］ |
| 前 | | 税法特殊研究［通年］ | | | | |
| 後 | | | 外国文献特殊研究B［通年］ | | | |
| 集中 | 現代社会問題特殊研究Ⅱ（統計学）［夏期休業期間中4日間］ | | | | | |

▶ 2年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | 地域経済論特殊研究［秋学期週 2回］ |
| 4 | | | | | | 地域経済論特殊研究［秋学期週 2回］ |
| 5 | | | | | | 財政学特殊研究演習［通年］ |

## 研究科長メッセージ　*Profesor'sMessage*



■ 経済学研究科長
金子 林太郎 教授

■ 担当科目
財政学特殊研究・演習

*Message*

**地域経済から国際機関まで幅広く必要とされる、深い学識と高度な専門能力を持つ人材を。**

私たちは、グローバル化、情報化が進み、変化が早く、少し先の将来すら予測困難な時代に生きています。そのような時代に、より多くの人がよりよく生きるためには何をどうすればよいのでしょうか。経済学はその手がかりを与えてくれる学問です。

経済学研究科では、一般学生はもちろんのこと、海外からの留学生、さらには多様な社会人を受け入れ、ここ熊本の地で経済学の研究の場を提供することによって、いまの厳しい時代に対応できる高度な経済学的知識と分析能力を備えた人材を養成し、地域社会、国際社会の発展に貢献したいと考えています。

本研究科の修士課程では、「経済理論部門」、「経済史部門」、「財政・金融部門」、「政策・地域部門」、「国際関係部門」の各部門で、広い視野に立った深い学識と高度な分析能力を身につけることが可能です。博士後期課程では、修士課程で修得した知識と研究能力を基礎に、より一層深く特定領域についての学びを究め、高度な専門知識と分析能力を兼ね備えた研究者、地域の経済・社会を牽引できるビジネスパーソンや公務員、各国際機関で活躍できる人材を目指すことが可能です。

熊本を愛し、経済学に魅力を感じ、学術研究に熱心な方の入学を歓迎します。

## 就職DATA　【主な進学・就職先の実績（現職継続者含む）】

**進学**　熊本学園大学大学院経済学研究科博士後期課程、熊本学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程、熊本学園大学大学院経済学研究科研究生（修士課程・博士後期課程）

**就職**　税理士法人絆、株式会社中小企業経営研究所（椿税理士事務所）、尾場瀬税理士事務所、赤塚智哉税理士事務所、田中恵公認会計士事務所、株式会社CS熊本、合同会社経営・計理研究所、高田税理士事務所、石田光好税理士事務所、株式会社有明エンジニアリング、フランジパニラタン、合資会社吉本組、合同会社もんど、熊本社会福祉専門学校、保健医療経営大学保健医療経営学部（教員）、熊本学園大学（非常勤講師）、九州産業大学（非常勤講師）、株式会社Stone Innovation Japan

*Graduate School of Area-based Cultural Studies*

# 国際文化研究科

国際文化専攻 修士課程　博士後期課程

## 教育理念・目的

国際文化研究科は、現代のような国際化・グローバル化の時代において、国際文化の諸分野の研究を通じ、異文化理解を促進すると同時に、グローバルな視野と豊かな識見をもち、国際社会で活躍できる高度な専門的知識と視野を持った研究者・専門家、並びに職業人の養成を目的とします。

## 三つのポリシー

### 学位授与の方針
［ディプロマ・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院国際文化研究科修士課程においては、2年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した者に対して、以下の能力（学修成果）を身につけているものと判断して、修士（文学）の学位が授与されます。

①日本文化・東アジア文化・欧米文化いずれかについての幅広い知識を有している。

②専門とする文化圏での言語・文学・文化等の分野で社会貢献ができる専門知識と語学力を有している。

③自身の研究内容を、該当分野及び近隣分野の諸研究・諸理論の中で位置づけることができ、適切な研究方法を用いて説得力のある論文として構築できる。

#### 博士後期課程

本学大学院国際文化研究科博士後期課程においては、3年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した者に対して、以下の能力（学修成果）を身につけているものと判断して、博士（文学）の学位が授与されます。

①日本文化・東アジア文化・英米文化いずれかの専門分野全般についての深い学識を有している。

②専門とする特定の分野での豊かな文献的知識を有し、的確な状況分析を展開できる。

③自身の研究内容において、専門性の高いテーマを設定し、正確な分析・考察を行い、独創性のある内容を説得力のある形で論文に完成できる。

### 教育課程編成・実施の方針
［カリキュラム・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院国際文化研究科修士課程においては、学位授与の方針に定めた能力を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①科目を「日本文化研究」「東アジア文化研究」「欧米文化研究」に分類し、それぞれの専門分野に応じて専門知識を涵養します。

②「日本文化研究」では、古典文学・近代文学・日本史をはじめ、言語処理や日本語教育を配置し、幅広く学ぶことのできる体制をつくっています。

③「東アジア文化研究」では、中国語と韓国語の言語文化研究だけでなく、文学、国際関係、政治、歴史といった地域文化も学ぶことができる科目を配置しています。

④「欧米文化研究」では、言語学をはじめ、文学、言語教育、異文化理解、コミュニケーションなどを学ぶことのできる科目を配置しています。

⑤修士論文の指導は、指導教員を中心に複数の教員が集団で指導する体制を構築します。これにより、研究課題に対して多角的にアプローチすることができるようになり、修士として必要な研究能力を涵養します。さらに経過報告（中間発表）を実施し、的確な助言・指導を受けて修士論文の完成を目指します。

#### 博士後期課程

本学大学院国際文化研究科博士後期課程においては、学位授与の方針に定めた能力を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①国際文化に関する高度な専門知識と専門分野に関する高度な研究能力を涵養するため、科目を「日本文化研究」「東アジア文化研究」「英米文化研究」に分類して配置しています。

②専門分野の研究については、3年間を通じた一貫性のある研究指導を行うとともに、専門分野だけに偏ることのないよう、関連する科目についても履修することができるようにしています。

③博士論文の指導は、指導教員を中心に複数の教員が集団で行う体制を構築し、博士に求められる高度な研究能力を涵養します。また、複数回に渡って報告会を実施し、研究の進捗状況を確認しながら的確な助言・指導を行うことで博士論文の完成を目指します。



### 入学者受入れの方針
［アドミッション・ポリシー］

#### 修士課程

本学大学院国際文化研究科修士課程においては、日本文化・東アジア文化・欧米文化いずれかの専門領域での基礎的知識（学部卒業程度）と研究に必要な語学力とを有し、以下のことを成し遂げたいと考える方を受け入れます。

①該当文化圏の言語や文化についての領域で、更に深い見識を身につけ、自らの研究を進めたい方。

②該当文化圏の言語や文化についての領域で、自らの専門的研究成果をもって社会に貢献したい方。

なお、入学者選抜については、基礎的知識（学部卒業程度）を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記①から②に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

#### 博士後期課程

本学大学院国際文化研究科博士後期課程においては、日本文化・東アジア文化・英米文化いずれかの専門領域で、特定の研究課題・研究方法についての知識（修士課程修了程度）と、高度な研究に必要な語学力を有し、以下のことを成し遂げたいと考える方を受け入れます。

①該当文化圏の言語や文化についての領域で、特定の研究課題を更に追及し、研究成果を博士論文にまとめたい方。

②該当文化圏の言語や文化についての領域で、独自性のある研究を行い、その成果をもって社会に貢献したい方。

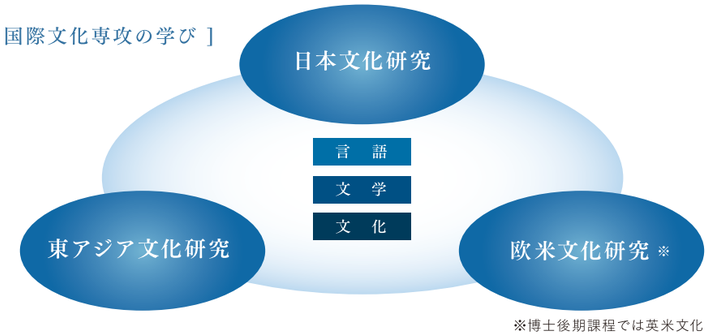
なお、入学者選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記①から②に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。



## 国際文化研究科の特徴

本研究科は、修士課程、博士課程ともに、日本文化研究、東アジア文化研究、欧米文化研究を３本の柱に、それぞれの分野において、言語・文学、文化の各方面の研究を国際的な視点から、幅広く、深く進めることができるカリキュラムを用意しています。日本、東アジア、欧米のそれぞれの文化圏について、それぞれの分野における新しい識見を提供し、研究をサポートすることで、国際化時代に求められるグローバルな視野を持ち、高度な専門的知識をも備えた研究者、専門家を育成します。

［ 国際文化専攻の学び ］




※博士後期課程では英米文化

POINT.1　日本文化、東アジア文化、欧米文化にわたる幅広い研究領域に対応している。

POINT.2　各文化領域において、語学・文学・文化・言語教育など、多彩な分野を持つ。

## 時間割モデル　〈修士課程 専修科目（東アジア（中国）言語文化Ⅵ）〉

▶ 1年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅴ［通年］ | |
| 2 | | 東アジア（中国）地域文化特殊研究Ⅰ［通年］ | 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅲ［通年］ | | |
| 3 | | 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅱ［通年］ | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | 言語処理論特殊研究［通年］ |
| 前 | | 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅵ演習［通年］ | 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅵ［通年］ | 日本語教育特殊研究［通年］ | |
| 後 | | | | | |

▶ 2年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅵ演習［通年］ |

## 研究科長メッセージ　*Professer'sMessage*



■ 国際文化研究科長

申 明直 教授

■ 担当科目

東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ・演習

東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義Ⅶ・研究指導Ⅶ

*Message*

### 言語・文化・異文化理解の知識と問題解決能力を備えた国際人を育成します。

現在、社会のあらゆる分野がグローバル化、国際化の波に洗われています。本研究科は日本文化・東アジア文化・欧米文化（博士後期課程では「英米文化」）の3つの分野で、こうした時代の変化に適応し、活躍できる人材の養成を目的としています。修士課程では、語学・文学・文化・言語教育など各文化圏についての専門分野の基礎を学び、研究する態度を涵養し、博士後期課程では同分野の研究者としての自立を目指します。一方で、本研究科は研究者養成だけを目的としているわけではありません。大学で学んだことをもっと深めたい方、新しい知見を得たいと考えている中学や高校の先生方、学生時代にやり残したテーマをもう一度学びたいと願っている社会人等々、そういう方々をも積極的に受け入れたいと考えています。多様な知的要求を持つ人たちと、各分野の専門教員によって形成される「知の共同体」に加わりませんか。

## 就職DATA　【主な進学・就職先の実績（現職継続者含む）】

**進学**　熊本学園大学大学院国際文化研究科博士後期課程、熊本学園大学大学院国際文化研究科研究生（修士課程・博士後期課程）

**就職**　熊本県高等学校教員（英語）、専門学校東京国際ビジネスカレッジ、専修大学玉名高等学校（教員）、沖縄国際大学（教員）、崇城大学（非常勤講師）、学習倶楽部、 株式会社鶴屋百貨店

*Graduate School of Social Welfare*

# 社会福祉学研究科

社会福祉学専攻 修士課程 博士後期課程
福祉環境学専攻 修士課程

## 教育理念・目的

社会福祉学研究科は、現代の多様化、高度化する社会福祉や社会保障の課題に応えるべく、人権保障を基礎にして、社会福祉学や福祉環境学領域における実践、並びに社会福祉や社会保障政策の理論と歴史を研究することを通して、社会福祉領域の指導者として活躍しうる高度専門職業人、並びに広い視野を有する研究者を養成することを目的とします。

## 三つのポリシー（修士課程）

### 学位授与の方針 ［ディプロマ・ポリシー］

修了時に以下の能力を身につけ、学則に定める学位授与要件を満たした者に学位を授与します。

#### 社会福祉学専攻

①豊かな人間性と研究者としての幅広い教養を基礎として、ウェルビーイングの向上と人権擁護の視点から、地域社会の諸課題に対して、自ら積極的に向き合い、社会福祉学領域の指導者、研究者として活躍しうるための人権に配慮した研究倫理を身につけています。

②社会福祉学領域の指導者、研究者として活躍しうるために、社会福祉学に隣接する学問領域を含む広範で高度な専門知識・技能と、的確な情報を収集・分析し、問題を解決する能力を身につけています。

③社会福祉学領域の指導者、研究者として、諸課題の解決に向けて、論理的・批判的に思考し総合的に高度な判断ができる力を身につけています。

④社会福祉学領域の指導者、研究者として活躍しうるために、多様な人々とのコミュニケーション能力と他者への共感力をもって、健康・生活・環境及び地域社会と福祉政策、ソーシャルワークの課題を解決するために主体的・協働的にかかわりリーダーシップを発揮できる能力を身につけています。

⑤すべての人々が生きがいを持ち、自由な選択によって豊かな生活ができる社会の実現に向け、講義・演習などで修得した知識・技能・態度を有機的に関連づけ、新たな価値を生み出す創造的思考力と、自身の研究内容を社会福祉学の理論や方法論の中で位置づけ、研究テーマに即した論文が作成できる能力を身につけています。

#### 福祉環境学専攻

①豊かな人間性と幅広い教養を基礎として、ウェルビーイングの向上と人権擁護の視点から、国内外の地域社会の諸課題に対して、自ら積極的に向き合い、福祉環境学領域の指導者、研究者として活躍しうるための人権に配慮した研究倫理を身につけています。

②福祉環境学領域の指導者、研究者として活躍しうる福祉環境学に隣接する学問領域を含む広範で高度な専門知識・技能と、的確な情報を収集・分析し、問題を解決する能力を身につけています。

③福祉環境学領域の指導者、研究者として、国内外の諸課題の解決に向けて、自らの調査研究に基づき、論理的・批判的に思考し問題解決の方法を提案できる能力を身につけています。

④福祉環境学領域の指導者、研究者として活躍しうるために、国内外の多様な人々とのコミュニケーション能力と他者への共感力をもって、健康・生活・環境及び地域社会の課題解決に主体的・協働的にかかわり国際的にリーダーシップを発揮できる能力を身につけています。

⑤地球規模で、すべての人々が生きがいを持ち、自由な選択によって豊かな生活ができる国際社会の実現に向け、講義・演習・フィールドワークなどで修得した知識・技能・態度を有機的に関連づけ、新たな価値を生み出す創造的思考力と、自身の研究内容を福祉環境学の理論や方法論の中で位置づけ、研究テーマに即した論文が作成できる能力を身につけています。

### 教育課程編成・実施の方針 ［カリキュラム・ポリシー］

学位授与の方針に定めた高度な専門知識と課題解決能力及び社会福祉学または福祉環境学に関する理論と研究方法を修得するために、以下の方針でカリキュラムを編成します。
なお、研究リテラシーや研究倫理に関する基礎的能力を修得するために、「社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究」を必修科目として位置付けます。また、社会福祉学領域または福祉環境学領域の指導者、研究者として活躍しうるために、隣接する学問領域での高度な専門知識を取得することができるように、より多くの講義科目を履修できるように配置します。

#### 社会福祉学専攻

社会福祉学の理念・歴史及び実践と政策に関して基礎的でかつ幅広い知識に裏打ちされた専門的な研究能力を育成するため、専門的講義及び演習を体系的に配置します。学生の研究テーマを考慮して、集団指導体制で、教育・研究を実施します。

#### 福祉環境学専攻

福祉環境学領域におけるフィールドワークの重要性を鑑み、現地調査の手法を学びつつ、幅広い知識を身につけながら専門分野に関する研究能力を涵養するため、専門的講義と国内外でのフィールドワーク、演習を体系的に配置します。学生の研究テーマを考慮して、集団指導体制で、教育・研究を実施します。

### 入学者受入れの方針 ［アドミッション・ポリシー］

#### 社会福祉学専攻

社会福祉学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有し、以下のいずれかに該当する方を受け入れます。

①大学において社会福祉学を学び、更に高度な専門的能力の修得を目指す方。

②社会福祉学領域における研究を活かし、自らの研究能力、職業能力を高めようとする方。

③すでに社会福祉分野で職業人として活躍しながら更なる能力向上を目指す方。

④社会福祉以外の分野で職業人として活躍しており、社会福祉学を研究することにより、更に新たな職業領域を開拓しようとする方。

⑤社会における福祉や環境に関する諸課題に関心を有し、自らの力で課題解決に取り組む姿勢と意欲を持つ方。

#### 福祉環境学専攻

社会福祉学または福祉環境学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有し、以下のいずれかに該当する方を受け入れます。

①大学において福祉環境学を学び、更に高度な専門的能力の修得を目指す方。

②福祉環境学領域における研究を活かし、自らの研究能力、職業能力を高めようとする方。

③すでに職業人として活躍しており、福祉環境学を研究することにより、更に新たな職業領域を開拓しようとする方。

④国際社会における福祉や環境に関する諸課題に関心を有し、自らの力で課題解決に取り組む姿勢と意欲を持つ方。



## 三つのポリシー（博士後期課程）

### 学位授与の方針 ［ディプロマ・ポリシー］

本学大学院社会福祉学研究科博士後期課程においては、3年以上在学し、本学学則に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文を提出して、その審査並びに最終試験に合格した人に対して、以下の能力を修得したものと判断して、博士（社会福祉学）の学位を授与します。

①上級専門管理職員を担いうる豊かな学識と高度で専門的な能力

②地域における医療・福祉などの多職種・多機関をコーディネートできる能力

③国際的・文化的視野のもとで環境・社会福祉的課題を調査・研究できる能力

### 教育課程編成・実施の方針 ［カリキュラム・ポリシー］

本学大学院社会福祉学研究科博士後期課程においては、学位授与の方針に定めた能力、及び社会福祉学に関する高度で専門的な理論と研究方法を修得するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施しています。

①地球規模と地域コミュニティを貫通するエコロジカルな視点を共有しつつ、生活環境への実証的研究とウェルビーイングに基づく社会環境に関する調査・政策領域を、水俣学研究センターを介して配置します。

②社会福祉学における理論・政策のより高度で専門的な調査方法・技法を修得・練磨し、オムニバス方式での複数教員による今日の地域社会における社会福祉学的課題の解決に貢献しうる講義を配しています。

③博士論文作成への指導に関しては、主査・副査による指導体制に基づき、院生主体による定例の「研究例会」を開催しつつ、報告・討議を介する共同性を基に実践的・自主的な研究過程を整備しています。

### 入学者受入れの方針 ［アドミッション・ポリシー］

本学大学院社会福祉学研究科博士後期課程においては、入学前に社会福祉学に関する専門的学識を有し、以下のいずれかの高度で専門的な研究意欲のある方を受け入れます。

①社会福祉に関する研究を蓄積してきた方で、更に社会福祉学のより高度で専門性の高い調査方法や政策・理論を修得する意欲のある方。

②研究者として、社会福祉学の近接科目を専門としつつも、社会福祉学（社会政策・ソーシャルワーク）の高度で専門的研究に意欲のある方。

③専門職の職業人として地域社会に寄与しているが、更に社会福祉学に関する調査・研究を究めてより専門性の高い領域で地域社会に貢献したい方。

なお、入学者選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記①から③に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

## 社会福祉学研究科の特徴

### 多様な研究テーマに対応できる体制

各自が綿密な研究計画書を作成し、それをもとに研究指導体制を整えていくことから、学位取得の道はスタートします。社会福祉学における理論と歴史、制度と政策、また福祉環境学領域の地域と環境について研究を進めます。第一線で活躍する指導教員のきめ細かい指導と、社会福祉学・福祉環境学領域の多様な選択科目を履修することにより、広い教養と深い学識を身につけることができます。修了生は研究者（大学・短大等の教員）や社会福祉実践の指導者（施設長・センター長等）として活躍しています。

## 時間割モデル 〈修士課程 専修科目（障害学）〉

▶ 1年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前 | 障害児者福祉論専門研究[春学期]<br>スポーツ社会学専門研究[秋学期] | 社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究[春学期] | 精神保健福祉学専門研究[春学期] | 福祉臨床と心理学専門研究[春学期]<br>高齢者福祉論専門研究[秋学期] | 障害学専門研究[春学期]<br>社会保障論専門研究[秋学期] |
| 後 | | | | | 障害学専門研究演習[通年] |
| 集中 | 社会調査方法論専門研究[春学期土曜日]<br>福祉環境学フィールドワークⅠ（水俣地域・不知火海、実地調査・ワークショップ）[夏期休業期間中] | | | | |

▶ 2年次

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前 | | 地域社会専門研究[秋学期] | | 社会福祉学専門研究[春学期] | |
| 後 | | 環境生命学専門研究[秋学期] | | 障害学専門研究演習[通年] | |
| 集中 | 社会福祉方法論専門研究[春学期集中] | | | | |

## 研究科長メッセージ *Professer'sMessage*



■ 社会福祉学研究科長
**西﨑 緑 教授**

■ 担当科目
社会福祉学専門研究・演習
社会福祉学特殊講義Ⅰ（社会福祉理論）

*Message*

**SDGs誰一人取り残さず、地球規模の自然と人間の共生を進めるための学びを応援します。**

社会福祉学研究科では、社会福祉実践と研究の質を高め発展させていく人材を育成しています。特に、私たちの生活圏域と地球規模の世界のつながりを意識するグローカルな視点から、社会で起きているさまざまな問題を捉え、その解決につながる知識、技術、経験を総合的に深めていく学びを支援しています。たとえば家族や地域社会の中で生じる福祉課題も、社会科学の諸学問や自然科学の知見から読み解くと、広い社会との繋がりがあることが見えてきます。そして、気候変動や環境破壊が、いかに世界の貧困、差別、排除と結びついているかが見えてきます。社会科学と自然科学において多彩な経験を持つ研究者が、みなさんの学びを支援する準備を整えてお待ちしています。

## 就職DATA

【主な進学・就職先の実績（現職継続者含む）】

進学 熊本学園大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程、熊本学園大学大学院社会福祉学研究科研究生（修士課程・博士後期課程）

就職 済生会みすみ病院、社会福祉法人くまもと障害者労働センター、熊本第一病院、本田福祉事務所、熊本大学医学部附属病院、社会福祉法人熊本県コロニー協会、福岡県立大学附属研究所不登校・ひきこもりサポートセンター、活水女子大学（教員）、熊本市立出水南中学校、熊本YMCA学院、熊本学園大学（教員）、熊本保健科学大学（教員）、九州看護福祉大学（教員）、京都橋大学（教員）、品川区役所、熊本県（社会福祉職）、日本郵便株式会社、徳山大学（教員）、熊本駅前看護リハビリテーション学院（教員）、社会福祉法人わくわく、一般社団法人未来の種、小さな森の保育園





# 支援制度

## 学会活動等援助金制度

院生の学会活動を奨励し、学術研究の促進を図るため、学会等での研究発表や学会誌に論文等を掲載する際に、必要な経費の一部を援助する制度です。

## ティーチング・アシスタント制度

学部や大学院教育におけるきめ細かい指導の実現と、院生が将来教員や研究者になるためのトレーニングの機会を提供することを目的として、ティーチング・アシスタント制度を設けており、毎年多くの院生が活躍しています。この制度を通じて、豊富な研究業績や実務経験を持った教員のもとで教育や研究手法を学び取り、また一定の報酬を得ることで院生への経済的支援の一役を担っています。

## 文献等複写援助

文献複写、授業用レジュメ作成などのため、学内で使えるコピーポイント（年間1,500枚まで）を付与します。

## リサーチ・アシスタント制度

大学院研究科の学術研究の充実、研究プロジェクトの効果的推進を図るとともに、研究補助業務を通して若手研究者の育成を図るため、リサーチ・アシスタント制度を設けています。

## しょうがい学生支援

しょうがいのある学生に対し他の学生と同様に学べるよう学習支援を実施しています。

## 社会人学生への支援制度

### ● 教育方法の特例

全研究科において、社会人のリカレント教育に対する社会的な要請に応えるため、大学院設置基準第14条に定められている教育方法の特例を導入して、社会人・有職者が受講しやすいよう平日夜間、土曜日、特定の時間・時期（集中講義等）に授業を開講するなどカリキュラム編成や研究指導面について組織的・体系的な整備を図っています。

### ● 教育訓練給付制度

「教育訓練給付制度」は、働く方の能力開発、キャリアアップを支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し、一定の要件を満たした方に対して、受講費用の一部を給付する制度です。本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金（上限10万円）を受給できます。

■ 支給額

受講者本人が支払った受講費用の20％（上限10万円）

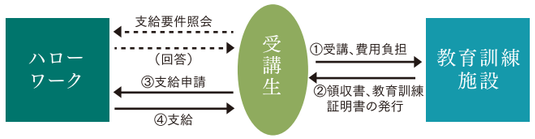
■ 支給要件

**初めて利用する方**

雇用保険加入期間が通算1年以上

**以前利用したことがある方**

前回利用開始日から雇用保険加入期間が通算3年以上




※長期履修生は、教育訓練給付制度の申請ができません。

# 奨学制度

修学を経済的側面から支援するものとして奨学制度があります。本学で取り扱っている奨学金は、大学独自の奨学金、日本学生支援機構奨学金、地方自治体・民間育英団体等の奨学金、また私費外国人留学生のための奨学金などがあります。

## 〈本学独自の奨学金〉

| 対象 | 種別 | 交付額 | 資格・条件 | 募集期間等 |
|---|---|---|---|---|
| 肥後銀行国際交流奨学基金 | | | | |
| 本学学生 | 給付 | 年額<br>36万円 | 経済的な援助を必要とする正規の私費外国人留学生及び海外へ長期留学する日本人学生 | 6月頃 |
| 田島司郎国際奨学基金 | | | | |
| 本学学生 | 給付 | 年額<br>24万円<br>※半年の場合は12万円 | 正規の私費外国人留学生、及び長期（半年または1年）留学する本学学生 | 10月～<br>1月頃 |
| 同窓会志文会奨学金 | | | | |
| 本学学生（外国人留学生は除く） | 給付 | 年額<br>30万円 | 自然災害、その他家庭の経済状況が急変し、修学が困難と認められる事態が発生した者（1号奨学生） | 随時 |
| | | 年額<br>15万円 | 本学から外国へ1年以上私費留学する者（3号奨学生） | 随時 |

# 納入金（参考：2022年度）

（単位：円）

| | 学年・期別 ＼ 種別 | | 一般納入金 入学金 | 一般納入金 授業料 | 一般納入金 施設費 | 一般納入金 計 | 委託徴収金 同窓会費 | 合　計 | 納入期限 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 修士課程 | 第1年次 | | 100,000 | | | 100,000 | | 100,000 | 入学手続 |
| | | 1期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | | 310,000 | 指定日時 |
| | | 2期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | 20,000 | 330,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | 100,000 | 570,000 | 50,000 | 720,000 | 20,000 | 740,000 | |
| | 第2年次 | 1期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | | 310,000 | 4月28日 |
| | | 2期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | | 310,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | | 570,000 | 50,000 | 620,000 | | 620,000 | |
| 修士課程〈長期履修生用〉 | 第1年次 | | 100,000 | | | 100,000 | | 100,000 | 入学手続 |
| | | 1期 | | 190,000 | 25,000 | 215,000 | | 215,000 | 指定日時 |
| | | 2期 | | 190,000 | 25,000 | 215,000 | 20,000 | 235,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | 100,000 | 380,000 | 50,000 | 530,000 | 20,000 | 550,000 | |
| | 第2・3年次 | 1期 | | 190,000 | 25,000 | 215,000 | | 215,000 | 4月28日 |
| | | 2期 | | 190,000 | 25,000 | 215,000 | | 215,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | | 380,000 | 50,000 | 430,000 | | 430,000 | |

（単位：円）

| | 学年・期別 ＼ 種別 | | 一般納入金 入学金 | 一般納入金 授業料 | 一般納入金 施設費 | 一般納入金 計 | 委託徴収金 同窓会費 | 合　計 | 納入期限 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 博士後期課程 | 第1年次 | | 100,000 | | | 100,000 | | 100,000 | 入学手続 |
| | | 1期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | | 310,000 | 指定日時 |
| | | 2期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | 20,000 | 330,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | 100,000 | 570,000 | 50,000 | 720,000 | 20,000 | 740,000 | |
| | 第2・3年次 | 1期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | | 310,000 | 4月28日 |
| | | 2期 | | 285,000 | 25,000 | 310,000 | | 310,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | | 570,000 | 50,000 | 620,000 | | 620,000 | |
| 博士後期課程〈長期履修生用〉 | 第1年次 | | 100,000 | | | 100,000 | | 100,000 | 入学手続 |
| | | 1期 | | 171,000 | 25,000 | 196,000 | | 196,000 | 指定日時 |
| | | 2期 | | 171,000 | 25,000 | 196,000 | 20,000 | 216,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | 100,000 | 342,000 | 50,000 | 492,000 | 20,000 | 512,000 | |
| | 第2～5年次 | 1期 | | 171,000 | 25,000 | 196,000 | | 196,000 | 4月28日 |
| | | 2期 | | 171,000 | 25,000 | 196,000 | | 196,000 | 9月28日 |
| | | 合計 | | 342,000 | 50,000 | 392,000 | | 392,000 | |

※2023年度入学生の納入金額は変更となる場合があります。
※入学金及び同窓会費については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除します。
※納入期限日が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とします。

Message

# 熊本学園大学大学院の　院生・修了生からのメッセージ

## 大学院生のメッセージ



### 高卒で就職後、大学院進学の道へ。
### 深い知識を身に付けた税理士を目指しています。

私は高校卒業後に就職しました。忙しく働く中で「自分の武器になる資格を取りたい」と税理士を目指し始め、合格に必要な5科目のうち、3科目を独学で取得しました。その後どのように合格を目指そうかと調べていたところ、本学の院で学位取得による資格取得が目指せることを知りました。そこで、高卒の学歴でも大学院を受験できるのかを事務室に尋ねたところ、個別資格審査で学部卒と同等以上の学力があると認められれば可能とのこと。その後、無事審査にも院にも合格することができました。事務室の方の手厚いサポートのおかげで、初めてのキャンパスライフも安心して過ごすことができています。

独学での資格試験勉強と違い、院での学びは新しい世界を開いてくれて、大きな刺激になっています。また、教職員と院生のみ入れる図書館地下フロアの貴重な資料も興味深く、時間の許す限り、古い資料を読みこんでいます。研究では、多くの人に身近な所得控除に関する知識を深め、将来の役に立てたいと思っています。

私のような特殊な経歴でも、頑張り次第で大学院での学びを目指すことができます。進学を目指したい人は、一度、大学院事務室へ相談をしてみてほしいです。

経済学研究科 経済学専攻 修士課程2年

平川 幸祐 さん

### 学部生の頃から目指してきた日本語教師。
### 大学院で学びを深め、社会貢献できる人材に。



本学の外国語学部英米学科の在学中に「日本語教師」という仕事を知りました。未来の日本を支える重要な職業であることに魅力を感じて日本語教員養成課程を履修し、職業として目指す以上に、その指導方法に関する研究をとても興味深く感じました。そこで、4年間で培った日本語教育に関する研究をより深めるため、大学院への進学を決めました。「将来、日本語教師として海外で働く際には、ステータスとして修士の学位を持っていた方がいい」との先生の勧めもありました。

大学院では、授業の専門性が高まるのはもちろん、一方的に講義を聞くのではなく議論や質問・答えのやり取りで進むため、予習復習は欠かせません。また、個人の自習室が設けられるなど、学習環境もより整備されています。先生との繋がりもより深くなり、今まで以上に研究への意識が高まっています。今、取り組んでいることが、技能実習生など訪日外国人の受け入れ体制や法律までふまえた、日本語指導の在り方の研究です。外国人の方の人生をも支えられるような日本語教師を目指し、研究を深めたいです。そして、海外での活動や、より研究を深めて博士課程へ進むなど、様々な将来の道筋を考えています。

国際文化研究科 国際文化専攻 修士課程1年

古閑 華恋 さん

## 修了生のメッセージ



### 税理士として勤務しながら、博士後期課程を修了。
### その傍で税法研究を進め、実務に活かしています。

県外の大学で理系の教員として働いていた頃、税理士事務所を営む父から声がかかり、熊本へ帰郷しました。税理士を目指すため、まずは基礎である簿記を一から勉強。本学の会計専門職研究科へ入学し、税理士事務所に勤務しながら大学院生となりました。修了後税理士となり、1年間税理士事務所で実務に集中。実務では税法の条文を理解し、納税者の方に説明する必要があることから、大学院で触れた税法研究を深めるともっと実務に生かせると思いました。

職場の協力もあり、税理士として博士後期課程に進学。大学院では、同じ課程の学生の研究報告を聞くことで、自分の研究テーマだけでなく様々な学説に触れることができます。また、学会発表など実務ではあまりできない経験ができるのも魅力です。

税法は毎年改正されるため、その度に改正点を理解する必要があります。大学院では条文をしっかりと読みこみ、また多くの論文等に触れ、さらに研究成果を発表することを経験できました。この経験は、納税者の方へ分かりやすく説明するために生きていると思います。今後も大学院で得た経験を生かしながら、税理士の立場から税法研究を続けていきたいです。

大蔵裕史税理士事務所 所属税理士

大藏 将史 さん　商学研究科 商学専攻 博士後期課程 2022年3月修了

### 仕事をする中で現実や問題に直面。
### 大学院での学びが、自分の人生を見つめ直すきっかけに。



小規模保育園で園長という職を行うにあたって、専門職として広い視野で自ら向かうべき方向性を構築し、かつ管理者として様々な観点の中から一つの真理を見出すすべを身に付ける必要性を感じ、大学院を志望しました。様々な講義の中での課題を通して、物事の本質について思考し、時には院生同士でそのことについて議論し、学びの楽しさ感じつつ自らの成長を実感できる充実した日々を送ることができました。研究では、日々の業務の中で抱えている問題意識について、客観的な視野で新たな枠組みを提示することが可能かどうかを追求。アクションリサーチという手法を用いた調査研究を進める中で、職員全体の意識の向上にも繋げることができたと実感しています。

大学を卒業して仕事に就くと、様々な問題や現実に直面するかと思います。その際に、大学院という環境は、その現実といかに向き合い、自分はどう生きたいのか自らの方向性を見出すことができる場所ではないかと思います。一歩立ち止まってこれまでの人生を見つめなおし、新たな人生に意味を持たせる場所として、大学院という選択は大きな意義が感じられる場ではないかと思います。

小さな森の保育園 園長

知識 伸哉 さん　社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 2022年3月修了

## 授与する学位

| 研究科・専攻 | 学位名称 | |
|---|---|---|
| | 修士課程 | 博士後期課程 |
| 商学研究科 商学専攻 | 修　士（商学） | 博　士（商学） |
| 経済学研究科 経済学専攻 | 修　士（経済学） | 博　士（経済学） |
| 国際文化研究科 国際文化専攻 | 修　士（文学） | 博　士（文学） |
| 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 | 修　士（社会福祉学） | 博　士（社会福祉学） |
| 社会福祉学研究科 福祉環境学専攻 | 修　士（福祉環境学） | — |

## 免許（専修免許状）［修士課程］

中学校教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状を有する方で、「大学が独自に設定する科目」から本学所定の単位を修得したうえ、修士の学位を得た場合、中学校教諭・高等学校教諭の専修免許状を取得することができます。

| 研究科・専攻 | 免許教科の種類 |
|---|---|
| 商学研究科 商学専攻 | 高等学校教諭専修免許状（商業） |
| 経済学研究科 経済学専攻 | 中学校教諭専修免許状（社会）、高等学校教諭専修免除状（公民） |
| 国際文化研究科 国際文化専攻 | 中学校教諭専修免許状（英語）（中国語）（韓国語）、高等学校教諭専修免許状（英語）（中国語）（韓国語） |
| 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 | 高等学校教諭専修免許状（福祉） |
| 社会福祉学研究科 福祉環境学専攻 | 中学校教諭専修免許状（社会）、高等学校教諭専修免許状（公民） |

## 学生数・修了者数

| 研究科・専攻 | 課程 | 2022年度 | | | | 2021年度 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 入学定員 | 入学者 | 収容定員 | 在籍者数 | 修了者数（単位取得満期退学者含む） | 就職者数（現職継続含む） | 進学者数 | 学位取得者累計 |
| 商学研究科 商学専攻 | 修士課程 | 5 | 4 | 10 | 7 | 0 | 0 | 0 | 251 |
| | 博士後期課程 | 3 | 0 | 9 | 9 | 3 | 3 | 0 | 23 |
| 経済学研究科 経済学専攻 | 修士課程 | 5 | 0 | 10 | 4 | 0 | 0 | 0 | 207 |
| | 博士後期課程 | 3 | 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 国際文化研究科 国際文化専攻 | 修士課程 | 5 | 4 | 10 | 7 | 1 | 0 | 0 | 67 |
| | 博士後期課程 | 3 | 0 | 9 | 0 | 1 | 1 | 0 | 9 |
| 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 | 修士課程 | 5 | 2 | 10 | 13 | 3 | 3 | 0 | 136 |
| | 博士後期課程 | 3 | 1 | 9 | 8 | 3 | 2 | 0 | 28 |
| 社会福祉学研究科 福祉環境学専攻 | 修士課程 | 5 | 1 | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 28 |

## キャンパスカレンダー




### 授業時間

授業については、月曜日から土曜日まで次の時間帯で行われています。
自分のライフスタイルにあわせて時間割を編成することができます。

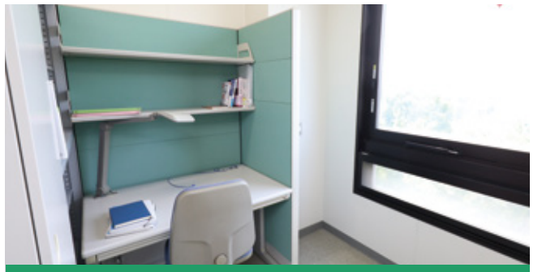
| | |
|---|---|
| 1時限 | 9:00 ～10:30 |
| 2時限 | 10:40～12:10 |
| 3時限 | 13:00～14:30 |
| 4時限 | 14:40～16:10 |
| 5時限 | 16:20～17:50 |
| 前時限 | 18:00～19:30 |
| 後時限 | 19:40～21:10 |

## 施設概要

### 充実した教育・研究環境の中で、高度な研究を支えています。

熊本学園大学正門南側に位置する14号館（60周年記念会館）は、新しい時代の要求に対応できる機能を持つ複合施設です。
大学院関連施設は、この14号館3階・5階・6階に配置され、静かで快適な環境のなか、院生の研究活動をサポートしています。

### 自習室



利用時間　月～土 9:00～23:00／日・祝 9:00～21:00

14号館6階には、院生の学修の場として自習室を備えています。机・書棚・ロッカー等を設置しており、個人ごとにスペースが区切られ、勉強に集中できる環境にも配慮しています。

### パソコン室



利用時間　月～土 9:00～23:00／日・祝 9:00～21:00

14号館3階・6階には院生専用のパソコン室を設置しています。授業や論文作成のための資料収集に活用したり、インターネット検索・電子メールで情報交換も可能です。

### 図書館



利用時間　【授業期間】月～土 8:50～22:00／日 10:00～17:00
【休業期間】月～土 8:50～21:00／日 10:00～16:00 ※1Fのみ

地上4階地下2階の図書館はキャンパスのほぼ中央に位置し、学習図書館、研究図書館、保存図書館としての機能を持ち、開架図書20万冊、965席の閲覧室のある静かな環境の中、毎日多くの学生、卒業生や一般市民が訪れています。現在、蔵書約92万冊、学術雑誌約8,100タイトル、視聴覚資料約15,000点などを所蔵し、西日本有数の規模と内容を誇っています。
開学以来、学部や学科、大学院の増設に合わせて専門資料や図書館機能の充実に努めてきました。これまで蓄積されてきた資料や情報の提供はもとより、最新の学術情報を迅速・的確に提供できるレファレンス体制も整えています。
より多くの利用者にこれらの資料や機能を活用してもらうために、年間約320日開館しており、授業期間だけでなく長期休業期間も存分に利用することができます。

### 研究所・研究センター

#### 産業経営研究所

「産業・経済およびこれに関連している諸事項の調査研究を行い、地域の産業経営の発展向上に寄与する」ことを目的に、1959年4月に設立。以来、地域経済、産業および企業経営に関する調査・研究ならびにその助成を行ってきました。また国、地方、企業の各種統計・資料、大学・研究機関の機関誌などの資料収集に努めています。調査研究の成果は、『調査研究報告』、所報『産業経営研究』等として発表。さらに最近は、産学連携事業にも注力し、地域経済の発展に寄与しています。

#### 社会福祉研究所

「社会福祉の科学的研究とその発展」「地域社会への貢献」を目的に1966年5月に設立。刊行物として『社会福祉研究所報』、『社会福祉叢書』、『くまもと　わたしたちの福祉』などがあります。また専門家を招き現代の社会福祉問題を取り上げる公開研究会の開催、2019年度からは社会福祉関連の経営者団体や社会福祉士会等の職能団体と連携について検討し、福祉関連施設等に従事する卒業生と連携をとりながら、新たに地域貢献事業に取り組むなど、地域交流にも努めています。

#### 海外事情研究所

「中南米事情研究所」を前身として、1972年4月に開設し、専門の研究に取り組み、成果を所報『海外事情研究』や『研究叢書』で発表しています。また所員への海外調査研究の援助、稀少価値のある文献の収集を行い、研究活動の充実に努めています。海外交流については、中国の深圳大学、オーストリアのウィーン大学、韓国の全南大学校の各研究所と交流協定を締結。活発な学術交流を行っています。また地域貢献の一環として一般の方も参加できる国際シンポジウム・研究会等を開催しています。

#### 水俣学研究センター

水俣病事件の教訓を将来に生かすことを目的に、「学問領域の壁を越える」「オープンな研究体制の構築」「現地に学び現地に返す」「国際的視野での研究・調査」「系統的な人材の育成に寄与する」ために、2005年4月に設置。同年8月には、水俣学現地研究センターが水俣市に設置されました。調査研究・教育・地域貢献・国際交流などを有機的に関連付けた活動を展開しています。また、水俣学ブックレットや資料叢書の刊行、公開講座の実施、水俣病関連資料の収集・整理・データベース化を進め、ホームページで公開しています。

Entrance Exam Summary

# 入試概要

本学大学院では、一般入学試験及び外国人留学生入学試験のほか、社会人をまた本学学部からの推薦入学試験・飛び級入学試験等があります。なお、対象とした社会人入学試験、現職の中学・高校教員（大学卒業者）を対象とした社会人特別推薦入学試験、詳細につきましては入試募集要項及びホームページ（https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/）をご覧ください。

## 学生募集概要（2023年度）

### ■ 修士課程

| 研究科 | 専攻 | 秋季 | 推薦 | 春季 | 入試種別 | 募集人員 | 専門科目 | 小論文 | 外国語（英語） | 面接 | 書類審査 | 論文審査 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 商学研究科 | 商学専攻 | ◎ | | ◎ | 一般入試 | 5名 | ● | ● | ● | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 外国人留学生入試 | | ● | ● | | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 社会人入試 | | | ● | | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 飛び級入試 | | ● | ● | ● | ● | | |
| | | | ◎ | ◎ | 推薦入試 本学商学部生対象 | | | | | ● | ● | ● |
| | | | ◎ | ◎ | 飛び級特別推薦入試 本学商学部生対象 | | | | | ● | ● | ● |
| | | | ◎ | ◎ | 推薦入試 本学商学部会計専門職コース対象 | | | | | ● | ● | |
| | | | ◎ | ◎ | 飛び級特別推薦入試 本学商学部会計専門職コース対象 | | | | | ● | ● | |
| | | | ◎ | ◎ | 社会人特別推薦入試 | | | | | ● | ● | |
| | | | ◎ | ◎ | 推薦入試 本学会計専門職研究科対象 | | | ● | | ● | ● | |
| 経済学研究科 | 経済学専攻 | ◎ | | ◎ | 一般入試 | 5名 | ● | | ● | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 外国人留学生入試 | | ● | | | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 社会人入試 | | | ● | | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 飛び級入試 | | ● | | ● | ● | | |
| | | | ◎ | ◎ | 推薦入試 本学経済学部生対象 | | | | | ● | ● | ● |
| | | | ◎ | ◎ | 社会人特別推薦入試 | | | | | ● | ● | |
| 国際文化研究科 | 国際文化専攻 | ◎ | | ◎ | 一般・外国人留学生入試 | 5名 | ● | | ●注1 | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 社会人入試 | | ● | | | ● | | |
| | | | ◎ | ◎ | 推薦入試 本学外国語学部生対象 | | | | | ● | ● | |
| | | | ◎ | ◎ | 社会人特別推薦入試 | | | | | ● | ● | |
| 社会福祉学研究科 | 社会福祉学専攻<br>福祉環境学専攻 | ◎ | | ◎ | 一般入試 | 5名 | ● | | | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 外国人留学生入試 | | ● | | | ● | | |
| | | ◎ | | ◎ | 社会人入試 | | ● | | | ● | | |
| | | | ◎ | ◎ | 推薦入試 本学社会福祉学部生対象 | | | | | ● | ● | |

注1）国際文化研究科一般入試・外国人留学生入試の外国語受験においては、専修科目に応じて指定された外国語科目より1外国語を選択する。

| | 秋季入試 | 推薦入試 | 春季入試 |
|---|---|---|---|
| 試験日 | 2022年9月25日（日） | 2022年11月13日（日） | 2023年2月12日（日） |
| 出願期間 | 8月25日（木）～9月1日（木） | 10月13日（木）～10月20日（木） | 1月12日（木）～1月19日（木） |
| 合格発表 | 9月30日（金）10：00 | 11月18日（金）10：00 | 2月17日（金）10：00 |
| 入学手続締切 | 第1回 10月14日（金）<br>第2回 2023年3月3日（金） | 第1回 12月2日（金）<br>第2回 2023年3月3日（金） | 2023年3月3日（金） |
| 試験会場 | 本学 | 本学 | 本学 |

### ■ 博士後期課程

| 研究科 | 専攻 | 募集人員 | 選考方法 |
|---|---|---|---|
| 商学研究科 | 商学専攻 | 3名 | ●筆記試験（英語）<br>●口述試験<br>●書類審査および論文審査 |
| 経済学研究科 | 経済学専攻 | 3名 | ●筆記試験（英語）<br>●口述試験<br>●書類審査および論文審査 |
| 国際文化研究科 | 国際文化専攻 | 3名 | ●筆記試験（外国語）※専修科目に応じて指定された外国語科目より選択<br>●口述試験<br>●書類審査および論文審査 |
| 社会福祉学研究科 | 社会福祉学専攻 | 3名 | ●筆記試験（専修科目に関する論述試験）<br>●口述試験<br>●書類審査および論文審査 |

| 試験日 | 2023年2月12日（日） |
|---|---|
| 出願期間 | 1月12日（木）～1月19日（木） |
| 合格発表 | 2月17日（金）10：00 |
| 入学手続締切 | 3月3日（金） |
| 試験会場 | 本学 |

#### 科目等履修生制度

大学院科目等履修生制度は、本大学院に開設されている、特定の授業科目について履修し、単位の認定を受ける制度です。大学を卒業した人であれば、どなたでも出願可能です。履修できる科目や出願の時期等については、大学院事務室にお問い合わせください。

#### 研究生制度

本学大学院修士課程、博士後期課程を修了、または博士後期課程を3年以上在学し退学した人が、研究を継続し、専任教員から指導を受けることのできる制度です。

#### オンライン入試説明会 開催のお知らせ

対面やオンラインで、
大学の教員に研究活動や入試制度
などについて相談してみましょう！
※教員の指名も可能です。

日程 6/18（土）より随時受付
時間 11：00～21：00

※土日祝除く
※参加には事前予約が必要です。
詳しくは本学ホームページをご確認ください。



# 演習の内容・開設科目一覧

■ 商学専攻　■ 経済学専攻

※授業科目は、都合により一部変更する場合があります。　※会計または税法に関する学位論文を作成することにより、税理士試験の科目免除の申請をすることができます。

## 商学研究科 商学専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| ブランドマーケティング論特殊研究演習<br>波積 真理 | 近代的な意味でのブランドは、マス・マーケットとともに論じられてきた。ブランドは、供給と需要においてそれを成立させる条件が整い、さらにそれをつなぐ流通の全国的な発達が必要である。日本においても、江戸という巨大都市において一部ブランドが成立していたし、江戸時代の終わりになると、一部商品に限ってではあるが、全国市場に対応してブランドが成立していた。しかし、全土的に、また消費する商品のかなりのウエイトを占める勢いでブランドが成立したのは、19世紀後半のアメリカにおいてであり、マス・マーケットという大衆消費市場の成立を背景としている。本演習では、まずブランドの成立条件としてマス・マーケットの成立をとりあげ、検討していきたい。さらに近年におけるブランドは、製品戦略の一部ではなく、独立した学問領域として研究が行われている。まだ、論者によってブランド論は様々なアプローチがみられるが、代表的な論文を取り上げて検討していく。そうした論文研究の基礎を受け、具体的な事例をとりあげ、ブランドの成立条件、戦略についてまとめ、発表することを目的としたい。 |
| 流通システム論特殊研究演習<br>吉川 勝広 | 商品が生産者から消費者にいたるまでの様々な社会活動が流通システム論の研究対象である。中でも小売には様々な業態があり、顧客獲得のために多岐にわたるマーケティング戦略が展開される。演習では日本における小売業態の分析（小売業態論）から始め、小売りの管理（リテールマネジメント）に関する先行研究を概観し、マーケティング戦略の理論的な考察をおこなう。理論的な考え方を構築したら、様々な事例から研究対象を決め、研究成果として修士論文にまとめていくことにする。 |
| 交通論特殊研究演習<br>伊津野 範博 | 運輸交通分野において、旅客、貨物の移動は本来需要ではなく、派生需要となるものの、人々の生活には欠かせないものであることから社会インフラの一つとして近年、重要視されている。しかし、少子高齢化による人手不足や地方の過疎化等が公共性の維持を困難にしており、さらに脱炭素といった環境配慮や安全性も求められている状況となる。運輸交通にかかわる産業は公共財的性質を持つという、他の産業との構造が異なることから、その体系を先行研究を通して整理するとともに、近年注目されている課題を取り上げ、行政の取り組みや企業事例を通して、その方向性を多面的に考察する。 |
| 保険論特殊研究演習<br>林 裕 | 保険の歴史・理論・経営・政策・現状などを考察しながら、現代保険が抱えるさまざまな課題を解明し、その中から修士論文のテーマを見いだしてゆく。リスクマネジメント手法としての保険制度や、高齢社会の伸展による医療・介護・年金分野における公的保険と私的保険の相互関係や、保険の販売チャネルと保険契約の動向、インシュアテックと保険商品など、多方面から保険について考察していく予定である。 |
| 経営財務論特殊研究演習<br>池上 恭子 | 経営財務論の対象は、企業の資金調達、投資決定、ペイアウト政策である。バブル崩壊後、株式持合いから機関投資家の台頭や敵対的買収の脅威等の企業を取り巻く環境は大きく変化した。このような変化を背景に、株主重視、資本コストの重視、自社株買い戻しを含む株主還元策の強化など財務活動も大きく変容している。財務論に関連するトピックとして注目されるのは、M&A、企業価値評価、コーポレート・ガバナンス、ESG投資などである。これらのなかからテーマを選び、先行研究を踏まえ、実証分析等によって、説得力のある修士論文の作成を目指す。 |
| 財務会計論特殊研究演習<br>小谷 学 | 財務会計制度に対しては、利害関係者の意思決定に役立つような情報を提供するという機能と、利害関係者間で生じる対立を緩和するという機能が期待されている。会計研究の領域では、これらの機能に関連して、制度研究、理論研究や実証研究が行われている。本演習では、会計ルールや企業の会計行動を対象とし、先行研究を押さえたうえで、独自の問題意識に基づいて研究テーマを設定して、説得力のある修士論文を作成する。 |
| 経営史特殊研究演習<br>幸田 亮一 | コロナ禍はグローバル化の流れを一時的に中断させたが、終息後は新たな形でグローバル化は展開していくだろう。それは、生活の様々な領域を世界市場と結合させ、私たちの依って立つ基盤である「地域」の存在意義を問いかけ直している。世界を見渡すと、グローバル化の波に飲み込まれる地域もあれば、グローバル化の流れの中で存在感を増している地域もある。本演習では、外国と日本の企業経営の比較を踏まえつつ「地域の経営史」を念頭において、熊本経営史を含め各自のテーマについて修士論文作成のための指導を行う。 |
| 労務管理論特殊研究演習<br>今村 寛治 | バブル崩壊後の不況、IT革命、グローバリゼーション、少子高齢化の進展といった環境変化によって、日本的労務管理の大々的な見直しが進んでいる。そこで本演習では、これまで内外のスタンダードの地位にあった日本的労務管理が現在どのような変化を見せているのかを、雇用形態、賃金決定の基準、労働時間の柔軟化、労使関係の変容といった点から確認する。そしてそのような変化が、企業や労働者を含む社会にいかなる影響を与えるのかを、文献サーベイや資料収集を通して考察していく。 |
| 経営管理論特殊研究演習<br>喬晋建 | まず教科書を用いて経営戦略論について勉強する。その次には、日系企業の中国進出に関する研究文献に加え、履修生の興味に沿って経営学諸分野の理論的な体系を説明する書物を教材にする。一年次の授業は教員の指導と説明についていくだけで構わないが、二年次の授業はあくまでも履修生主体のものであり、知的財産権が自分に帰属する修士論文の完成度を高めよう。また、きわめて少人数の授業になるので、当然、教員と一緒に文献を勉強したり、意見を交換したり、レポートあるいは修士論文に関する発表を行う頻度は高い。 |
| 経営科学特殊研究演習<br>得重 仁 | 経営科学は、システムの運用に科学的な根拠を与えるものとして、経営のみならず様々な分野で問題の解決に用いられている。問題の解決では、1）問題を理解する為のモデルを構築し、2）モデル上で解決方法を複数求め、3）評価基準の下で最適な解決方法を選択して解を得る、3つのプロセスが行われる。これまでに様々な分野での典型的な問題がモデル化され、それらの解決方法が開発されている。本演習では、最初に、それら典型的な問題のモデル化と解決方法を学修し、解決方法をプログラム実装して解を得る演習を行う。そして、その知識と技術を基にして、実際の問題を例に取り、問題のモデル化、解決方法の開発、プログラム実装による解の導出を行う。また、それらの作業を論文として取り纏め、発表を行う。 |
| 情報処理特殊研究演習<br>堤 豊 | コンピュータの処理能力が飛躍的に高まるにつれ、ソフトウェアも肥大化している。したがって、これらのソフトウェア作成に当たって膨大な労力が必要とされている。また、マルチメディアやネットワークといった先端技術の寿命は非常に短く、これらの技術を利用したソフトウェアもまた短い寿命というのが宿命である。これらの欠点を補うために、ソフトウェアの部品化技術について考える。主要な機能についてソフトウェア部品を作成しておけば、プログラムを専門とする技術者でなくてもアプリケーションを作成することができるようになるはずである。また、部品を入れ替えるだけで最先端の技術にも対応できるようになる。情報処理特殊研究演習では、ソフトウェア部品の設計、実装、テストについて考察する。使用するプログラミング言語、テキストは受講生のスキルにあわせて授業中に選定する。履修にあたっては、最低1つのコンパイラ方式のプログラミング言語（C,Pascal,Fortran等）を習得していることが必要である。 |

【開設科目一覧】
- 商学原理特殊研究、演習
- 商業史特殊研究、演習
- マーケティング論特殊研究、演習
- マーケティング・マネジメント論特殊研究、演習
- ブランドマーケティング論特殊研究、演習
- 流通システム論特殊研究、演習
- 流通政策論特殊研究
- 交通論特殊研究、演習
- 金融論特殊研究、演習
- 銀行論特殊研究
- 証券経済論特殊研究、演習
- 保険論特殊研究、演習
- 経営財務論特殊研究、演習
- 会計学原理特殊研究、演習
- 財務会計論特殊研究、演習
- 管理会計論特殊研究、演習
- 会計監査論特殊研究
- 会計制度論特殊研究、演習
- 経営史特殊研究、演習
- 経営社会システム論特殊研究、演習
- 労務管理論特殊研究、演習
- 経営管理論特殊研究Ⅰ・Ⅱ、演習
- 経営科学特殊研究、演習
- 情報処理特殊研究、演習
- ビジネス特講Ⅰ
- ビジネス特講Ⅱ
- 情報管理
- ビジネス・リテラシーⅠ
- ビジネス・リテラシーⅡ
- ビジネス倫理
- 流通論基礎特殊研究
- 会計ファイナンス基礎特殊研究
- 経営学基礎特殊研究
- 情報基礎特殊研究
- ビジネス法基礎特殊研究
- 経済学基礎特殊研究
- 会社法特殊研究
- 労働法特殊研究
- 会社税法特殊研究

## 商学研究科 商学専攻 博士後期課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| ブランドマーケティング論研究指導演習<br>波積 真理 | 商品が市場に投入されたのち、すぐに消えてしまう商品が多くある中で、消費者に長く愛される「ロングセラー・ブランド」が存在しています。景気が低迷し、また消費者のニーズも多様化する中で、顧客との関係を強めるためにも、愛着を持たれるブランドを育てることに企業は力をいれています。ブランドは、消費者に認められてこそ成立するもので、消費者の心のなかにある目には見えないものです。そのため、マーケティングブランドは、単に良いものを安く作るという販売志向でなく、きわめて消費者サイドに立った戦略をたてる必要があります。この演習では、まずブランドとはなにかという理論を理解した上で、実際のケースを取り上げ、マーケティングブランドについて実践的に研究していきます。 |
| 保険論研究指導演習<br>林 裕 | 保険は有効なリスクマネジメント手法のひとつといわれている。まずは、リスクの概念、リスクの分類、リスクマネジメントのプロセスを整理して、リスクマネジメントにおける保険制度の位置づけを理解する。リスクマネジメントは一般的に企業保険の領域を対象としているが、家計保険の分野における個人のリスクマネジメントも考察対象とする。方法論としては、歴史的論理的な考察を重視する。まずは、保険の生成過程を掘え、損害保険・生命保険の本質的部分を導き出す。今日の多種多様の保険種類は、本質的部分から派生したものであるので、まずは保険の基本を押さえた上で現状分析に臨むことにする。各論的には、損害保険商品、生命保険商品、インシュアテックと新しい保険商品などについても考察する予定である。 |
| 財務管理論研究指導演習<br>池上 恭子 | 財務管理論の対象は、企業の資金調達、投資決定、ペイアウト政策である。バブル崩壊後、機関投資家の拡大を背景に、企業価値最大化に向けて、コーポレート・ガバナンスの強化、資本コストの重視、株主還元策の強化など財務活動も大きく変化してきた。さらに、近年M&Aの増加とその成否、ESG投資の急激な浸透などにより、財務に関連するトピックが注目を集めている。これらのトピックからテーマを選択し、先行研究や理論をおさえ、さらに、財務論だけでなく、経営学、会計学、会社法等の関連分野の幅広い高度な専門知識も修得し、オリジナリティある博士論文の作成を目指す。 |

【開設科目一覧】
- 流通システム論研究指導、演習
- 商業構造論研究指導、演習
- マーケティング論研究指導、演習
- 交通論研究指導、演習
- 消費者行動論研究指導、演習
- ブランドマーケティング論研究指導、演習
- 金融制度論研究指導、演習
- 保険論研究指導、演習
- 財務管理論研究指導、演習
- 会計学原理研究指導、演習
- 財務会計論研究指導
- 管理会計論研究指導、演習
- 会社税法研究指導、演習
- 会計制度論研究指導、演習



## 商学研究科 商学専攻 博士後期課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 会計学原理研究指導演習<br>佐藤 信彦 | 会計学の中心的課題の一つは、適正な期間損益の計算にあるといっても過言ではない。しかし、どのような計算が適正なのかについては、当然のことながら、種々の考え方がありうる。そこで、現行会計基準における財務諸表作成の基本的考え方、つまり各財務諸表要素の認識、測定および表示・開示に関する取扱いの基礎にある考え方のみならず、それと対立する考え方およびそれに基づく取扱いを分析する。<br>また、一方で、財務報告は、それのみを独立したものとして捉えるのではなく、非財務報告と統合する形で捉えられるべきであるとする考え方（統合報告）も、近年現れている。そのような、財務報告に起きている新たな展開について、検討していくことも考えている。 |
| 会社税法研究指導演習<br>末永 英男 | 会社税法のなかでも、主として法人税法をとりあげる。法人税法は、法人税の課税標準は所得の金額、すなわち課税所得であると定めている。そこで本研究指導では、わが国法人税法における所得計算構造の究明を目的とした研究を行う。明治20年の所得税法創設からシャウプ勧告を経て今日の法人税法に至るまでの過程を、歴史、判例、租税理論、会計理論、そして租税法理論に基づいたアプローチで検討を行う。<br>【主な研究テーマ】<br>（1）所得計算方法に関する研究<br>税法が予定している所得計算方法と企業会計のそれとは同じものなのかについて究明する。<br>（2）公正処理基準に関する研究<br>税法が依拠している企業会計準拠主義の意義についてIFRSを念頭におきながら検討する。<br>（3）益金、損金の具体的事例による研究<br>例えば、法人税法22条をめぐる最高裁の判例を通じて益金、損金の内容を解明する。<br>（4）組織再編とグループ法人税制に関する研究<br>連結経営時代におけるグループ法人税制の本質について検討する。 |
| 会計制度論研究指導演習<br>大塚 成男 | 会計制度は、社会における多数の主体が一定のルールに準拠して取引の会計処理や財務諸表の作成を行う仕組みとして成立する。会計制度の根幹となるのは各主体が準拠するルール、すなわち会計基準である。それゆえ会計制度論では、現実の会計基準の理論的基盤や実務的基盤を検討し、将来において設定されるべき会計基準について考察する。検討の対象には、会計基準の内容だけでなく、会計基準が開発されるプロセス自体も含まれる。さらに、企業会計の基準だけでなく、公的部門の基準も視野に入れた検討を行う。会計基準の内容や開発プロセスを「社会的な選択」とみなす立場から、現実の会計基準の実像を明らかにすることが研究の目標となる。 |
| 経営史研究指導演習<br>幸田 亮一 | 本演習では、まず、欧米の企業活動と比較しつつ、地域の経営資源の組み合わせという観点から、アジアや日本の企業活動の歩みについて調べる。次に、それらの中から産業や地域を絞り、時代や地域の特性を体現している企業や企業家を抽出し、それらに関する社史や伝記類を収集し、先行研究となる著作や論文を読み進めていく。その後、博士論文のテーマを絞り込み、先行研究や関連研究を渉猟し、独自性を発揮できる分野を探り出し、仮説を設定し、先行研究を批判的に検討した上で実証を積み重ね、博士論文作成を支援していく。 |
| 経営管理論研究指導演習<br>喬晋建 | 指導教員自身は近年に経営管理の理論思想、CSR（企業の社会的責任）、中国における日本企業の経営戦略などの研究領域に関心を集中しているが、本科目は、受講生の興味と志向に合わせて、経営管理論を中心とする諸分野（たとえば国際経営論、組織論、戦略論、マーケティング論、意思決定論など）をカバーすることが可能である。<br>本科目の履修を通して、経営学の一部分野の基礎理論を正確に理解し、科学的な研究方法（先行文献サーベイ、ケース・スタディ、アンケート調査、統計分析など）を実践することができるように目指す。教科書のほか、研究文献を大量に読み、また研究進捗状況の報告を頻繁に行なう。教員と学生のディスカッションなどを通して、理論性、科学性、独創性を持ち合わせる研究論文の完成度を高めていく。 |
| 労務管理論研究指導演習<br>今村 寛治 | 労働力の効率的利用を一義的な目標とする労務管理も、当然のことながら時代とともに変化する。そこで本指導では、バブル崩壊後の不況、IT革命、グローバリゼーション、少子高齢化の進展といった環境変化によって、近年大々的な変化をみせている日本的労務管理の実像を文献サーベイや資料収集を通して追及する。その際、雇用形態、賃金の決定基準、労働時間の柔軟化、労使関係の変容といった点から具体的に考察を進める。また、このような日本的労務管理の変化が企業や労働者、さらには社会全体にどのような影響を与えるのかもあわせて考えていく。 |
| 情報処理研究指導演習<br>堤 豊 | Microsoft社のNETプラットフォームに代表されるように、オブジェクト指向言語の普及とコンポーネントの規格化により、大規模なソフトウェアの開発が比較的短期間に作成できるようになった。しかし、職業プログラマ以外の一般のプログラマによっては、コンポーネント自体が非常にプリミティブなものであるため、組み合わせてアプリケーションを作成するためにはまだまだ困難が多い。また、マルチメディア技術の急速な進展に伴い、過去に作成したソフトウェアが利用できなくなるという事態も生じている。これを解決するため、再利用可能なマルチメディア・コンポーネントを作成し、これを利用したアプリケーションの開発を行う。また、これに関連した研究テーマも数多く考えられる。2、3の例を列挙する。<br>（1）マルチメディア・コンポーネントの再利用に関する研究<br>（2）XMLを用いた教育用プログラムのプラットフォームに関する研究<br>（3）ITを利用した教育支援システムの開発に関する研究 |

【開設科目一覧】
- 経営史研究指導、演習
- 経営管理論研究指導、演習
- 労務管理論研究指導、演習
- 株式会社論研究指導、演習
- 経営科学研究指導、演習
- 情報処理研究指導、演習
- 国際経済学特殊講義
- 地域経済学特殊講義

## 経済学研究科 経済学専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 計量経済学特殊研究演習<br>宅間 文夫 | 本演習は、都市や地域等を対象とした応用ミクロ経済学に基礎をおいた実証研究を行う。演習生は、各自の研究テーマ及び問題意識に基づき、計量経済モデルによる分析を行い、それをもとに修士論文を作成する。1年次は、研究テーマに関連する参考文献を精読しつつ、統計データを用いたデータ分析演習に取り組み、実証分析に習熟する。2年次は、参考文献のレビューをしつつ、実証研究に取り組む。実証研究では、研究テーマにあわせて、(i)実証モデルの構築、(ii)データの収集、(iii)実証分析の、3つについて同時並行的な試行錯誤と議論を重ね、修士論文の完成を目指す。 |
| 数理経済学特殊研究演習<br>坂上 智哉 | 均衡マクロ動学の手法を用いて、経済成長や景気循環のメカニズムを数理的に研究する。そのためには、最初に微分方程式や最適制御理論といった動学分析に関する数学的手法を理解することから始めなければならない。つづいて、均衡マクロ動学や成長理論・循環理論に関する基本的文献を研究し、最終的には独自の問題意識に基づいたモデルの構築や経済政策の効果について分析をすすめていく。 |
| 情報処理論特殊研究演習<br>飯高 敏和 | 今日のネットワーク技術と経済活動の緊密な関係を意識し、Webサービスや技術についての研究を行います。特にビッグデータや機械学習AIの活用について研究することを、想定します。修士論文のテーマとしては、何らかの経済効果をもたらしうるWebサービスを考案・設計・構築し、効果を検証するものとします。1年次では、各自に興味のあるシステムやサービスについて、リサーチしてもらいます。2年次には、自分なりのシステムをつくり、それについての修士論文を作成してもらいます。 |
| 財政学特殊研究演習<br>金子 林太郎 | 財政学・租税論に関する基礎理論をマスターし、各自の問題意識に基づいてわが国の財政や税制の抱える問題について研究を進める。1年次には共通テキストの輪読により財政学・租税論の基礎を固めるとともに、政府税調等の資料にも目を通し、税制の現状を把握する。さらに各自の問題意識に沿って先行研究を調査し、修士論文の構想を練る。2年次は各自が修士論文のテーマに沿って先行研究を批判的に検討し、ゼミで経過報告しながら論文の構想を進め、修士論文の完成を目指す。 |
| 経済政策論特殊研究演習<br>岡村 薫 | ミクロ経済学の中でも特に不完全競争（独占および寡占市場、または情報の非対称性）における企業行動や家計行動を理論と実証によって解明し、社会に与える影響を研究する。不完全競争によって発生する問題に対する政府の介入（例えばある市場に対する規制）が、問題を解消し、経済厚生を改善するかという観点から政策評価を学ぶ。履修者は、まず文献を通じて不完全競争市場における企業行動と消費者行動の理論を学習し、さらに企業や消費者に関するデータを用いて行動を分析する手法を学習する。最終的には、自らの関心における問題に対して分析し論文として形にすることを目標とする。 |
| マクロ経済政策論特殊研究演習<br>小葉 武史 | マクロ経済政策の理論的背景と、現実の経済において行われている実際の経済政策とを、文献を輪読することで学ぶとともに、関連する理論的・実証的研究手法を学ぶ。経済政策では、その政策が依って立つ経済理論を理解することとともに、計量経済学的手法を用いて、現実の経済の状態を把握すること、実施した政策によって政策目的が達成されたかどうかを判断することがかかせない。本演習では計量経済分析の手法についても重点的に学ぶ。各自の問題意識に基づき、理論と実証の両面から研究ができる能力を養成する。 |

【開設科目一覧】
- ミクロ経済学特殊研究、演習
- 応用ミクロ経済学特殊研究、演習
- マクロ経済学特殊研究、演習
- 応用マクロ経済学特殊研究、演習
- 計量経済学特殊研究、演習
- 応用計量経済分析特殊研究
- 数理経済学特殊研究、演習
- 経済学史特殊研究、演習
- 統計学特殊研究、演習
- 情報処理論特殊研究、演習
- 応用システム論特殊研究、演習
- 日本経済史特殊研究、演習
- 西洋経済史特殊研究、演習
- 経済思想史特殊研究、演習
- 社会思想史特殊研究、演習
- 財政学特殊研究、演習
- 金融論特殊研究、演習
- 経済政策論特殊研究、演習
- マクロ経済政策論特殊研究、演習
- 農業政策論特殊研究、演習
- 労働経済論特殊研究、演習
- 地域経済論特殊研究、演習
- 地域産業論特殊研究演習
- 環境経済論特殊研究
- 民法特殊研究
- 税法特殊研究
- 行政法特殊研究
- 企業法特殊研究
- 環境論特殊研究
- 公共政策論特殊研究、演習
- 国際経済論特殊研究、演習
- 国際金融論特殊研究、演習
- 開発経済論特殊研究、演習
- 貿易論特殊研究、演習

# 演習の内容・開設科目一覧

■ 経済学専攻　■ 国際文化専攻

※授業科目は、都合により一部変更する場合があります。

## 経済学研究科 経済学専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 公共政策論特殊研究演習<br>溝上 章志 | 公共政策の中でも特に都市・交通政策に関する実践的研究の例を収集し、熟読することによって、それらで用いられている分析や評価の方法、そこから導き出された具体的政策について理解を深める。その後、自らが修士論文のテーマとしたい具体的研究課題を設定し、参考論文の収集と理解、基礎理論の学習を行って修士論文の完成をめざす。 |
| 開発経済論特殊研究演習<br>エイ チャンプイン | 本演習のテーマは、発展途上国が抱える様々な開発問題を探って、経済的・非経済的側面から課題の解決策を検討することです。本演習では、開発経済学の理論を理解した上で、発展途上国が抱える開発問題について、国際機関や各国統計局のデータを基に分析を行います。演習の到達目標は、1年次に学んだ理論や発展途上国における社会経済の現状分析を基に、発展途上国に潜む開発問題を探って、その緩和策を提案する修士論文を完成させることです。 |
| 貿易論特殊研究演習<br>金栄緑 | 国際貿易の理論的研究さらに、経済統合、自由貿易協定（FTA、EPA）などの理論的、実証的研究を行います。研究のテーマ・修士論文のテーマは、国際貿易の理論をベースにした応用問題まで取り入れる予定です。本演習では、国際貿易論の代表的な文献を読みながら各自の研究テーマを決めていき、修士論文の完成を目標としています。 |

【開設科目一覧】
- 国際関係論特殊研究、演習
- 国際経済法特殊研究、演習
- 外国文献特殊研究A
- 外国文献特殊研究B
- 現代社会問題特殊研究Ⅰ（租税論）
- 現代社会問題特殊研究Ⅱ（統計学）
- 経済問題解法特殊研究Ⅰ
- 経済問題解法特殊研究Ⅱ

## 経済学研究科 経済学専攻 博士後期課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| マクロ経済学研究指導演習<br>坂上 智哉 | マクロ経済動学の手法を用いて、人的資本や物的資本の蓄積と長期的な経済成長との関係を研究する。ラムゼイモデルやOLGモデルをはじめとする動学モデルの基礎や、動的計画法やマルコフ過程といった動学分析に必要なツールを学ぶ。これらの基礎を修得した後、ミクロ経済学のフレームワークから出発する動学的競争均衡モデルを理論的・実証的に研究する。指導目標は、現実の経済問題に対する中長期的予測や政策提言を、動学的競争均衡モデルを用いて行うことである。 |
| 情報処理論<br>研究指導演習<br>飯高 敏和 | 本演習では、演習生の関心に基づき、情報にまつわる特定の問題の分析や、そうした問題を解決しうるシステムの提案や、そうしたシステムの開発・設計を行ってもらう。<br>初年次においては、演習生はそうした情報に関連する問題や、それに関連する研究文献を調査してもらい、演習において発表してもらう。演習においては、その発表に基づいてコメント・討論を行う。これを通じて、演習生には問題に関する理解を深めてもらう。こうした理解に基づいて、2年次以降には、論文の作成を進めてもらう。 |
| 地域経済分析<br>研究指導演習<br>宅間 文夫 | 本演習は、都市・地域経済を対象とした理論的あるいは実証的な研究を行う。このため、研究テーマは多岐にわたるが、(A)地域経済・財政及び人口構造に関する計量経済モデルを用いた研究、(B)不動産市場の政策分析に関する計量経済モデルを用いた研究、(C)地域間産業連関モデルによる経済波及効果に関する研究の、3つ研究テーマを想定している。1年次は、興味のある参考文献を精読しつつ、研究テーマを検討・選択し、研究テーマに応じた経済理論や実証理論等を学び、研究の基礎を作る。2年次以降は、研究内容の報告を受け、コメント・議論・再検討を重ねて研究を進め、さらに学会報告を通して研究のブラッシュアップを行いつつ、博士論文の完成を目指す。 |
| 貿易論研究指導演習<br>金栄緑 | 研究テーマは「国際貿易論」で、とりわけ貿易パターン、貿易構造の分析と貿易協定や地域経済協定の分析に着目した研究である。国際経済と関連する様々な経済事象から課題を抽出・分析・問題解決し論文で表明できる能力を身につけることを目標とする。<br>指導方針は、①経済学の基礎理論、国際経済学の理論について徹底し、②経済学の理論が応用できるように、③国際貿易論および関連分野に関する先端の研究ができるようにすることである。<br>課程の終了後、自立した専門家としての能力を養成することを目標とする。 |
| 公共政策論研究指導演習<br>溝上 章志 | 修士論文の研究テーマを発展させた都市・交通政策に関するテーマを博士論文のテーマとして研究を深化させる。そのために、参考となる国内外の関連論文や専門書を収集し、熟読することによって、それらで用いられている分析や評価の方法、そこから導き出された具体的政策についてさらに理解を深める。特に公共交通ビッグデータの整備とその解析、および公共交通マーケティングへの展開に関する総合的研究を推進していく。 |

【開設科目一覧】
- ミクロ経済学研究指導、演習
- 応用ミクロ経済学研究指導、演習
- マクロ経済学研究指導、演習
- 国際マクロ経済学研究指導
- 情報処理論研究指導、演習
- 情報経営論研究指導
- 日本経済史研究指導、演習
- 西洋経済史研究指導、演習
- 社会思想史研究指導、演習
- マクロ経済政策研究指導
- 地域開発論研究指導、演習
- 地域経済分析研究指導、演習
- 農業政策論研究指導、演習
- 貿易論研究指導、演習
- 経済開発論研究指導、演習
- 国際金融論研究指導、演習
- 労働経済論研究指導
- 地方財政論研究指導、演習
- 公共政策論研究指導、演習

## 国際文化研究科 国際文化専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 近代文学特殊研究Ⅱ演習<br>赤井 恵子 | 本演習で取り扱う対象は、受講生が修士論文のテーマとして選んだ日本近代の作家（または評論家）の作品とする。受講生がやがて完成させる修士論文が、一人の作家のごく一部の作品を対象とするものだとしても、その作家の全集を読破することは研究の最低要件である。テーマ設定→全集読破→全集所収作品から、設定したテーマにふさわしいものの選定、等の作業を順になしてもらう。そののち先行論文の収集方法、取り扱い方法を学んで、それらの作業にあたり、研究史の把握に移ってもらう。とにかく、修士論文を書くための実践的な演習としたい。 |
| 言語処理論<br>特殊研究演習<br>川田 亮一 | 日本語を対象言語とし、コンピュータを活用して、日本語の形態論・構文論・意味論・語彙論のいずれかの分野でのテーマを扱った研究を行う。そのために次の3点を修得することが最初の目標となる。<br>(1)現代言語学の知識(GB,PSG,LFG,HPSGなど)<br>(2)日本語学の知識(全般にわたる基礎知識)<br>(3)自然言語処理の知識(データ処理を行うためのプログラミング言語を含む)<br>さらに研究テーマに関連する先行研究を調査し、テーマに適した自然言語処理技術を修得し、これを活用することにより論文を作成していく。想定しているテーマは次のものである。<br>・コーパス等電子化データを利用した日本語研究(電子化データ作成を含む)<br>・日本語の各分野の形式化とコンピュータ上でのシミュレーション<br>・言語処理技術の開発・研究ツールの開発 |
| 日本語教育特殊研究演習<br>塩入 すみ | この演習では日本語教育に関わる領域のうち、日本語に関わる領域（音声・文法・語彙・談話構造・コミュニケーション、言語行動）、学習者に関わる領域（理解・産出・異文化適応）、教育と社会に関わる領域（教室活動・評価・ビリーフ・日本語教育史・言語政策）などを扱う。受講生はそれぞれの修士論文のテーマに沿った領域における研究方法の基礎を学び、修士論文に反映させる。授業では他の受講生と論文の内容・進捗状況を共有し、問題を議論することで考察を深める。受講生が日本語教育経験者の場合、受講生の実践を活かしたテーマを扱い、修士論文に発展させることもある。 |
| 東アジア（中国）<br>言語文化特殊研究Ⅱ演習<br>小笠原 淳 | 本演習の研究対象は現代中国語圏の文学作品及び中日比較文学である。魯迅が現れた中国の文学革命から新中国の成立を経て今日にいたる「中国現当代文学」の紆余曲折した歩みを、華語語系文学（サイノフォン）という視点を取り入れて考察していく。受講生には研究対象とする作家の文学テクストにとどまらず、比較対象として同時代の代表的なテクストを読み進めてもらう。テクストを精読し、自力で日本語に精確に訳出する。この過程を通じて、中国語で書かれた文学がもつ内容と技巧上の特徴や傾向をより深く理解する。テクストの精読と翻訳、先行研究の収集と検討、研究会等での発表を通じて、独自性のある研究テーマを自ら発見し、修士論文の執筆につなげていく。 |
| 東アジア（韓国・朝鮮）<br>言語文化特殊研究Ⅴ演習<br>矢野 謙一 | この演習では朝鮮語の歴史的研究の基礎となる15世紀朝鮮語を取り上げる。今年度は刊経都監からだされた仏典の諺解を研究する。演習では中世語の文法の基礎的な知識と現代語、漢文を手がかりに解読し、中世語研究の基礎を養う。また関連する中世語についての論文を同時に読んでゆく。これを通じて修士論文のテーマを定め、関連する文献を集め、参考文献を読み、発表をくり返すことで論文を作成してゆく。 |

【開設科目一覧】
- 古典文学特殊研究、演習
- 近代文学特殊研究Ⅰ、演習
- 近代文学特殊研究Ⅱ、演習
- 言語処理論特殊研究、演習
- 日本史特殊研究
- 日本語教育特殊研究、演習
- 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅰ、演習
- 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅱ、演習
- 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅲ、演習
- 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅳ、演習
- 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅴ、演習
- 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅵ、演習
- 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ、演習
- 東アジア（中国）地域文化特殊研究Ⅰ、演習
- 東アジア（韓国・朝鮮）地域文化特殊研究Ⅱ、演習
- 東アジア地域言語文化総合演習
- イギリス文学特殊研究、演習
- アメリカ文学特殊研究Ⅰ、演習
- アメリカ文学特殊研究Ⅱ、演習
- 英語学特殊研究Ⅰ（英語教育評価論）、演習
- 英語学特殊研究Ⅱ（外国語習得論）、演習
- 英語学特殊研究Ⅲ（文体論）、演習
- 英語学特殊研究Ⅳ（応用言語学）、演習
- 英語コミュニケーション論特殊研究、演習
- フランス文学特殊研究（フランス詩論）

## 国際文化研究科 国際文化専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 東アジア（中国）<br>言語文化特殊研究Ⅵ演習<br>馮蘊澤 | 理論言語学の立場から中国語の問題を取り上げ、言語を言語話者が内的に持っている「知識の体系」としてとらえ、その解明を目標とする言語研究を行う。具体的には音声・音韻の問題か、構文の問題を対象とし、音声の仕組み、音韻体系、または文形成のメカニズムの解明を目指す。上記の目標を達成させるためには、言語学理論への理解、検証、批判を行う一方、対象となる個別言語（中国語）の事実を、実際の手法をはじめ、客観的、多角的に観察し、正しく把握する姿勢と要領を身につける。修士論文の作成にあたっては、課題を言語の普遍性と個別性の両面から記述し、表層の現象に至るまでのメカニズムの解明を目指す。 |
| 東アジア（韓国・朝鮮）<br>言語文化特殊研究Ⅶ演習<br>申明直 | 韓国の共生文学（映像）を共に考察する。韓国の共生文学に関する研究は、近代前期（1945年以前）の農民共生文学と、近代後期（1999年代以後）の移住労働者の共生文学（映像）に分けて探ってみる。特に、1920年代と30年代に発刊された雑誌『開闢』『別乾坤』『朝鮮農民』等と、1990年代以後東北・東南アジアからの移住によって形成されたコミュニティーと東アジア市民意識の形成過程を描いた小説・映像文学を中心に研究を行う。 |
| 東アジア（韓国・朝鮮）<br>地域文化特殊研究Ⅱ演習<br>玉井 浩嗣 | 本演習のテーマは、植民地朝鮮における地域社会である。具体的には、日韓両国に残る朝鮮総督府などの行政文書や新聞・雑誌記事などの大量の資料（史料）を駆使することで、植民地朝鮮の地域社会で展開された農業政策や教育政策の実態を解明することを目的とする。本演習では、(1)朝鮮半島内の各地域の特徴、(2)帝国の一部としての植民地朝鮮、(3)伝統（在地・在来）技術と近代（外来）技術、の3点を常に問題意識としてもちながら、まず先行研究の整理と資料（史料）の地道な調査・収集・分析を行い、修士論文のテーマを設定してもらう。その後は定期的な研究発表を通じて論点の整理、資料の追加を行い、修士論文の完成を目指していく。 |
| アメリカ文学<br>特殊研究Ⅰ演習<br>向井 久美子 | 主として十九世紀の小説やそれらと関連のある映像作品を対象とし、芸術的、歴史的、社会的、文化的、宗教的背景などに照らし合わせながら、そこに表現されている様々な含意、象徴、比喩、キャラクターの心理などについて考察を深める。当時、芸術や文化に関わるアメリカ人のほとんどが、ヨーロッパ渡航経験のある「プルジョア階級」であったため、「国際テーマ」や同時代の作家に共通したヨーロッパに対するコンプレックスやトランス・アトランティックな意識などをふまえ、先入観にとらわれない作品分析や批評を行う視点を養いつつ、オリジナリティのあるユニークな論文の完成をめざす。 |
| 英語学特殊研究Ⅰ<br>（英語教育評価論）演習<br>神本 忠光 | この演習は、英語教育の4技能の指導法や評価全般に強い関心を持つ学習者や現場の英語教師に最適な演習である。研究テーマの例として、類似した指導法の相対的な効果を調べたり、あるテストが意図する能力をきちんと測定しているかを調べたりすることができる。実際の指導は、各院生の研究テーマに沿って行う。指導者は、修士論文作成過程、つまり先行論文の読み方、研究課題の作成、データ収集・分析、結果、議論などの各過程で、院生の疑問に丁寧に答え助言を与える。一対一での二人三脚の演習で、今まで曖昧模糊としていた指導・評価上の課題に対して体系的に取り組むことで知的満足を感じることだろう。最終的には、学会で発表できる論文完成を目指す。 |
| 英語学特殊研究Ⅲ<br>（文体論）演習<br>堀 正広 | 本演習は、以下のようなテーマで修士論文を作成する受講者を対象としている。<br>(1)小説の言語学的文体分析をテーマとする者。<br>(2)コーパスを使って言語分析を行う者。<br>(3)コロケーション研究を行う者。<br>論文の指導は個別指導で行い、テーマについての討論だけでなく、論文の書き方も指導していく。 |
| 英語学特殊研究Ⅳ<br>（応用言語学）演習<br>米岡 ジュリ | この演習ではアジアを始め世界の様々な英語に関する学術専門雑誌の論文を読み、学生による口頭発表や討論形式で行なう。選んだ論文に基づいて修士論文作成を指導する。具体的な内容は、言語学的な要素（音声、語彙、文法などの特徴）も、総合的の『WORLD ENGLISHES』の原理や各国の英語に対しての教育の実態、社会的なニーズや政治的なポリシーも含む。修士論文の必要に応じて、コーパスを利用した世界英語の研究も実践する。<br>また、6月と12月に日本国内で開催される『アジア英語学会』のどちらか、あるいは両方への参加も強く勧める。 |
| 英語コミュニケーション論<br>特殊研究演習<br>佐藤 勇治 | この演習では、「リーダーのコミュニケーション特性」を、アメリカの社会と文化の文脈の中で分析することを目的とする。その素材として、アメリカの歴史上「危機の時代」に登場し、優れた知性と指導力でアメリカの国難を救った二人の大統領のコミュニケーションを取り扱う。<br>前期は第一次世界大戦に勝利し国際連盟創設の立役者となった、Woodrow Wilson大統領の演説を、その目的・背景・構成・修辞法・効果などにわたって分析し、後期は世界大恐慌の時代から第二次世界大戦の勝利に至るまで強力なリーダーシップを発揮したFranklin D.Roosevelt大統領の演説の分析を行う。<br>学生の発表と質疑応答を中心に展開し、二人の大統領がアメリカ議会に、あるいはアメリカ国民に向かって発したメッセージが、どのような影響を与えたのかを考察する。その延長上で、アメリカにおけるリーダーのコミュニケーション特性はどのようなものかを研究する。 |
| スペイン語特殊研究演習<br>岡村 一 | 「スペイン語特殊研究」では、社会的要素が言葉におよぼす影響が主題のひとつだが、演習ではその中でもとくに、個人への関心の高まりと文学作品の文体の関係にしぼって考察していきたい。西ヨーロッパでは中世前期から後期に移行する過程で、個人への関心がいちじるしい高まりを見せた。例えばそのあらわれとして、ロマネスク美術では画一的だった人物像が、ゴシック美術では個人の顔や体をそなえるようになる。あるいは信仰共同体全体の救いにおもな関心を寄せていた教会の中で、しだいに個々の信者の内面の救いをはかろうとする動きが出てくる。スペイン文学の作品の文体においても、これと軌を一にした潮流が観察できると思われるが、それが具体的にどのような形であらわれ、どのような変遷の過程をたどるのかを、各時代を代表する作品群を分析することによって研究を進める。 |

【開設科目一覧】
- ドイツ語特殊研究（ドイツ現代言語論）
- スペイン語特殊研究、演習
- 西洋史特殊研究

## 国際文化研究科 国際文化専攻 博士後期課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 東アジア（中国）<br>言語文化特殊研究指導Ⅵ<br>馮蘊澤 | テーマは中国語の音声・音韻、または構文の問題とする。受講生はまずこれまでの各自の研究を内省して、問題点と課題を明らかにし、テーマ、およびこれまでの研究手法を自己評価、相互評価を行ったうえで、学会の最新の研究動向に注意を払いながら、学位論文の完成を目指す。学位論文の完成までの間には、数回、学会発表、学会誌の投稿を目標とする。 |
| 東アジア（韓国・朝鮮）<br>言語文化特殊研究指導Ⅶ<br>申明直 | 韓国文学や韓国映画などの韓国文化を通して、韓国社会を始め韓国における諸現象を研究する。韓国の文化現象に内包されている韓国の歴史・言語あるいは政治・経済の原理を研究するためには、まず自分なりの物差しが必要である。特に、日本で韓国学に携わる場合、トランスナショナルなスタンス、即ち「東アジア学」あるいは「グローバリティ」に基づいた観点に立って検討すべきである。韓国の中の韓国学ではなく、韓国と日本との「関連性」に基づいて、より幅広く東アジアと結びつき研究する必要がある。韓国文化と関連している韓国に関する研究課題を、より幅広い観点と細密な分析方法による研究になるように指導を行う。 |
| アメリカ文学<br>特殊研究指導<br>向井 久美子 | アメリカン・ルネッサンス期の作家について、これまで修得した研究を土台に、有機的かつ体系的に博士論文を作成するための研究を展開させる。まずオリジナリティのある大テーマを設定し、さらにそのテーマを論証するための複数の小テーマを設定することで、全体の枠組みを構築する。同時に先行研究をくまなくあたり、小テーマへのアプローチ法、それぞれのテーマを論証するための方法、小テーマから大テーマへの道筋などを論考しながら進めていく。また学会に所属し、発表を行うことによって、研究中の論文の有効性を探り、必要とあれば軌道修正やブラッシュアップを行うことも含みつつ、研鑽の場として利用する。様々な視点からテーマを考察し、専門研究における自分の論文の位置付けを行い、その妥当性を検証し、論文を推敲し、最終的には出版できるレベルの学位論文に仕上げることを目標とする。 |
| 英語学特殊研究指導<br>（文体論）<br>堀 正広 | 本指導では、受講者のテーマにしたがって博士論文作成のための指導を行う。3年間で仕上げることができるように、年間計画を立て、関係学会での発表や学術雑誌への投稿を積極的に行っていけるよう指導していく。<br>世界に発信できる論文を書き上げられるよう指導する。 |
| 英語教育学<br>特殊研究指導Ⅰ（評価論）<br>神本 忠光 | 本指導は、英語教育のある分野に関して、修士レベルより深く研究したいと願う学生や現職の教員向けである。特に4技能や語彙力などの英語力に関して、指導と評価の観点から扱う。指導の成果をきちんと評価できていない限り、効果的な指導はありえないからである。研究テーマとして、ある指導法がどの程度効果があるのかを調べたり、複数の指導法の相対的効果を比較することなどが考えられる。こういった種類や範疇に属する研究テーマであれば、院生のテーマに合わせて指導を行うことが可能である。基本的な指導の方法は、研究テーマの先行論文を共に読み、研究課題を精緻する。その後、データ収集を行い、物語性のある博士論文の完成を目指す。 |

【開設科目一覧】
- 古典文学特殊講義、研究指導
- 近代文学特殊講義Ⅰ、研究指導Ⅰ
- 近代文学特殊講義Ⅱ
- 東アジア（中国）言語文化特殊講義Ⅰ、研究指導Ⅰ
- 東アジア（中国）言語文化特殊講義Ⅱ、研究指導Ⅱ
- 東アジア（中国）言語文化特殊講義Ⅲ、研究指導Ⅲ
- 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義Ⅳ、研究指導Ⅳ
- 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義Ⅴ、研究指導Ⅴ
- 東アジア（中国）言語文化特殊講義Ⅵ、研究指導Ⅵ
- 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義Ⅶ、研究指導Ⅶ
- 東アジア（中国）地域文化特殊講義Ⅰ、研究指導Ⅰ
- 東アジア（韓国・朝鮮）地域文化特殊講義Ⅱ、研究指導Ⅱ
- アメリカ文学特殊講義、研究指導
- イギリス文学特殊講義、研究指導
- 英語学特殊講義、研究指導（文体論）
- 英語教育学特殊講義Ⅰ、研究指導Ⅰ（評価論）
- 英語教育学特殊講義Ⅱ、研究指導Ⅱ（外国語習得論）

# 演習の内容・開設科目一覧

■ 社会福祉学専攻　■ 福祉環境学専攻

※授業科目は、都合により一部変更する場合があります。

## 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 社会福祉学専門研究演習<br>西﨑 緑 | 社会福祉学は、ひとりひとりの人間の幸福を社会全体で実現していくことを目ざし、その環境、方法、過程を研究する学問である。この演習では、社会福祉の思想、哲学、理論、歴史を主な範囲とし、文献研究および臨床・実践との往還をもとにした学術研究を行う。たとえば、国内外の貧困、格差、差別の問題などをもたらす複雑な関係性を解明し、解決・緩和の方向性を見出すことも研究テーマの一つと捉えることができる。演習の具体的な進め方は、修士論文作成に向けて、各自が研究の進捗状況の報告を行い、ディスカッションによって理解を深めていく。先行研究レビューおよび論文作成についてのテクニカル・サポートも行い、学術論文の書き方も指導する。 |
| 高齢者保健福祉論<br>専門研究演習<br>横山 孝子 | 現在の超高齢社会における平均寿命と健康寿命の格差がクローズアップされ、高齢者の生きがいと健康づくり事業が推進されています。そのような背景下で、「アクティブ・エイジング」や「サクセスフル・エイジング」、また「フレイル」の考え方も広がりつつ、高齢期のウェルビーイングが目指されています。<br>本演習では、高齢者の保健福祉に関して、多岐にわたる受講生の関心や研究テーマを題材に、関連する領域の基礎的文献や専門的文献を精読、共有することを目指します。その上で、各自の研究テーマを確定し、文献探索の方法、研究の進め方を理解しつつ、それぞれに関連する文献等を基に研究報告及び共同討議を行います。必要時は、フィールドワークの導入も検討予定です。<br>最終的には、修士論文の完成に向け研究指導を深め、研究成果の進展を図ります。 |
| 高齢者福祉論<br>専門研究演習<br>仁科 伸子 | 社会福祉学の観点から、それぞれの学生の関心に沿って、研究テーマの設定、研究計画の立案、フィールドワークやデータ収集の方法、先行研究のレビューを実施する、研究ノートの書き方といった論文執筆と社会福祉研究の基礎演習を進めていく。その過程において、研究のための基礎的な文献や論文の紹介など、研究を進めるためのサポートを行っていく。修士課程では、論文執筆の基本的なルールを身につけることや、論文を構成すること、調査、研究の方法を修得することが重要と考えている。テーマは、学生の関心に沿って選択するが、教員の専門分野に応じて、社会福祉及び、社会福祉方法論に関する研究であることが求められる。授業では、各自自分の研究内容について発表し、議論や指導を行うスタイルをとっている。 |
| 地域福祉論<br>専門研究演習<br>高林 秀明 | 地域福祉は、地域生活問題をめぐる政策と実践、運動によって歴史的に形成されてきました。そのため社会問題の構造とその対策体系の中に位置づけて、その役割と課題・展望を認識することが必要です。単にケアの一部を行う互助・共助として地域福祉をみるだけではその本質を理解することはできません。<br>本演習では、文献を通して地域福祉の理論的認識を深めるとともに、受講者の研究テーマに関する地域生活および制度・政策の実態をリサーチすることを重視します。地域福祉の実態・課題を深く掘り下げ、その将来のあり方を展望しようとする意欲にあふれた研究を期待します。このようなスタンスで修士論文完成まで研究指導を行います。 |
| 障害学専門研究演習<br>堀 正嗣 | この演習では、修士論文作成に向けて、受講者が各自の研究主題に沿った報告を行い、共同討議や研究指導を行う。その際、前期は受講者と相談のうえ、障害学に関する基本文献を輪読し、障害学研究の基礎および共通認識を築きたい。後期は各自が自らの研究テーマに関連する文献および論文を選定し、報告する。また修士論文作成に向けての研究報告を行う。研究の進捗状況に応じてフィールドワークを取り入れ、先進地における視察や研究討議を行う予定である。大学院においては専門的な文献や論文を読み解くトレーニングが求められる。その基礎となる、障害学に関する内外の専門論文を読むことも考えている。 |
| 保育学専門研究演習<br>伊藤 良高 | この科目では、保育・幼児教育に係る理論的・実践的課題について、実証的ないし臨床的に探求していくことを目的としている。保育・幼児教育学に関する学術文献・資料等の精読に努めるとともに、保育学修士論文の執筆に向けて、作成技法などそのノウハウを詳細に教授する。具体的には、参加者の研究関心・主題に即して、それぞれ問題の所在を出し合いながら、共同討議や研究指導を深めていきたい。 |
| 社会保障論<br>専門研究演習<br>松本 勝明 | 今日、社会保障は、人々が健康で安心して生活を送る上で欠かせないものとなっている。この演習では、社会保障が将来にわたってその役割を適切に果たせるよう、少子高齢化の進展などの社会経済の変化に対応した制度のあり方を検討する。<br>社会保障は、医療保険、年金保険などの様々な制度により構成されているが、この演習では、社会保障全般についてひととおりの検討を行うのではなく、各受講生が個別に決定した研究テーマに即した指導を行う。指導にあたっては、当該テーマを多面的、総合的に考察するパースペクティブを獲得すること、当該テーマに関する今日の学界の到達水準をマスターすること、そして、できるだけ独創性ないし発展性の萌芽を内包するような修士論文を作成することを目標とする。 |
| 西欧社会福祉史<br>専門研究演習<br>岡部 造史 | この演習では、修士論文の作成に向けて、西欧社会福祉史や西洋史などに関する西欧語文献・日本語文献の講読、参加者による研究発表・討論、さらに修士論文作成の進め方についての指導などを中心におこなう予定である。参加者には西欧の言語で書かれた史料や研究文献を読解できる十分な能力が必要となる。発表や議論を通じて西欧社会福祉史に関する理解を深めつつ、課題を探求し問題意識を高めていきたい。また参加者の状況に応じた研究指導を適宜実施することも考えている。 |

【開設科目一覧】
- 社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究
- 社会福祉学専門研究、演習
- 高齢者保健福祉論専門研究、演習
- 高齢者福祉論専門研究、演習
- 障害児者福祉論専門研究、演習
- 地域福祉論専門研究、演習
- 障害学専門研究、演習
- 児童福祉論専門研究、演習
- 保育学専門研究、演習
- 社会保障論専門研究、演習
- 社会福祉法制専門研究、演習
- 家族社会学専門研究、演習
- 日本社会福祉史専門研究、演習
- 西欧社会福祉史専門研究、演習
- 地域社会専門研究、演習
- 現代人権政策論専門研究、演習
- 福祉臨床と心理学専門研究、演習
- ソーシャルワーク方法論専門研究
- 社会福祉方法論専門研究
- 女性福祉論専門研究
- 社会福祉実習





## 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 社会福祉学<br>特殊研究指導Ⅳ（障害学）<br>堀 正嗣 | 障害学とは、障害および障害者を、医療、リハビリテーション、社会福祉、特別支援教育等の専門分化された枠組みから研究するのではなく、それらを社会、文化の視点から分析し、また障害を分析の切り口として社会、文化を研究していく学問である。この科目では、欧米における障害学の形成過程を明らかにし、障害学の学問的基礎としての「障害の理論」についての詳細な研究を行う。その上で、受講生の研究テーマに即して、障害の視座から社会、文化の変革をもとめる新たなパラダイムの構築を試みる。 |
| 社会福祉学<br>特殊研究指導Ⅶ<br>（地域福祉論）<br>高林 秀明 | 社会福祉・地域福祉の認識は、対象課題（生活問題）の実態把握からその構造をトータルに分析することを基礎に、その対策体系における位置と役割を明らかにすることによって導かれると考えています。これまでの社会福祉・地域福祉は、社会保障とまちづくりの一環であり、それらの最終的な位置における事業・運動及びエンパワメント実践と言っていいかもしれません。ただし、その実際も認識も中長期的には対象課題（生活問題）の実態の変化とそれを規定している社会的諸要因の影響によって変化します。それらの実態と規定要因を、既存研究（理論やリサーチ）を踏まえ、丁寧な調査を通して把握し、社会福祉・地域福祉の発展の方向と条件を明らかにすることが今日の研究課題として重要です。社会福祉・地域福祉の本質に迫ろうとする意欲的な研究をサポートします。 |
| 社会福祉政策学<br>特殊研究指導Ⅰ<br>（社会保障論）<br>松本 勝明 | わが国においては、戦後、すべての国民に健康で文化的な最低限度の生活を保障する憲法25条のもとで、それを現実の生活のなかに実現する社会保障の本格的な整備・充実が行われた。今日、医療保険、年金保険などの様々な制度により構成される社会保障は、人々が健康で安心して生活を送る上で欠かせないものとなっている。一方、社会保障は、少子高齢化の進展、家族構造の変化、就労形態の変化、経済のグローバル化の進展などの社会経済の構造変化に直面し、様々な課題を抱えている。このため、社会保障には、その理念や価値の見直しを含めた総括と再構築が求められている。<br>このような状況を踏まえ、この授業では、今日の社会保障が直面している課題を分析するとともに、社会保障の将来像を考察する。しかし、すべての論点をひととおりカバーするようなステレオタイプの検討は避けて、各受講生の追及する研究テーマに即しつつ、オリジナルな研究成果を構築するに必要な体系的、比較法的な研究指導を行う。 |
| 社会福祉政策学<br>特殊研究指導Ⅱ<br>（社会政策）<br>花田 昌宣 | 現代における社会福祉政策を理論、歴史、実証の三つの面から研究・指導します。いくつかの研究課題を例示しておきますと、障害者の雇用と就労、国内外の困窮者政策と社会的経済、被差別部落の歴史と現在、ハンセン病、沖縄の社会福祉政策などがあります。本学の特色でもある水俣学研究や公害被害の実証的研究も進めています。私たちはこれらを体系的に構築して新たな学の構成を目指しています。研究方法としては、あくまでも現場に学び、社会に活かす実践的学と理論的方法視角を重要視して研究指導していきます。また、私が長年調査してきたヨーロッパあるいはアジア諸国の福祉や環境にかかわる課題もとりあげます。 |
| 社会福祉政策学<br>特殊研究指導Ⅳ（保育学）<br>伊藤 良高 | 現代日本の保育・幼児教育をめぐる状況は大きく変容しつつある。少子化、核家族化、都市化・過疎化、女性の社会進出の拡大といった社会状況の変化が乳幼児を取り巻く環境にも著しい変化を与えており、これに伴い保護者や地域社会のニーズも多様化している。このため、近年、幼稚園・保育所等保育施設は、乳幼児にとって初めて集団生活を経験する場、家庭では得ることのできない多様な経験をする場、預かり保育や子育て支援活動など地域における幼児教育・子育て支援センターとしての期待が高まっている。また、乳幼児期の家庭教育と地域社会における教育について、家庭教育の重要性を見直し考える機会の提供や体験活動の充実など、地域で子どもを育てる環境づくりを進めていくことの大切さが唱えられている。本科目では、保育・幼児教育をめぐる諸問題について理論的・実践的・臨床的にアプローチすることを基本にしつつ、専修生が自立した研究者としてオリジナルな保育・幼児教育研究を進めていくことができるよう助言指導する。これまでの研究水準を踏まえ、新たな研究領域・内容を開拓する力量形成をめざして、特に保育・幼児教育を学問的・実証的にとらえていくための技法（理論・方法・課題）について教授する。 |
| 環境福祉学<br>特殊研究指導Ⅱ<br>（生活環境学）<br>宮北 隆志 | 資源・エネルギー浪費型の便利で快適な生活の追求や、経済効率優先の生産とライフスタイルが、我々自身の生活や健康と福祉を様々なかたちで脅かすと同時に、地球生態系全体への大きな脅威となっている。本講では、健康と福祉のまちづくりや環境自治体をめざす先進市町村の取り組みから、持続可能な農的健康社会のあり方について生活の視点から検討すると同時に、QOLの概念やWHOが提唱するヘルスプロモーションの理念と技術などについての理解を深める。また、めざすべき地域社会/生活環境の実現に向けた、市民/NPO・民間企業・行政の協働（パートナーシップ）のプロセスとコミュニティガバナンスのあり方について考察し、生活者参画型コミュニティの今後を展望する。 |

【開設科目一覧】
- 社会福祉学方法論高度専門研究
- 社会福祉学特殊講義Ⅰ、研究指導Ⅰ（社会福祉理論）
- 社会福祉学特殊研究指導Ⅱ（西欧社会福祉史）
- 社会福祉学特殊講義Ⅳ、研究指導Ⅳ（障害学）
- 社会福祉学特殊研究指導Ⅴ（精神保健福祉学）
- 社会福祉学特殊研究指導Ⅵ（高齢者福祉論）
- 社会福祉学特殊講義Ⅶ、研究指導Ⅶ（地域福祉論）
- 社会福祉政策学特殊講義Ⅰ、研究指導Ⅰ（社会保障論）
- 社会福祉政策学特殊講義Ⅱ、研究指導Ⅱ（社会政策）
- 社会福祉政策学特殊研究指導Ⅲ（人権社会論）
- 社会福祉政策学特殊講義Ⅳ、研究指導Ⅳ（保育学）
- 環境福祉学特殊研究指導Ⅰ（環境福祉学）
- 環境福祉学特殊講義Ⅱ、研究指導Ⅱ（生活環境学）
- 環境福祉学特殊研究指導Ⅳ（地域社会論）
- 環境福祉学特殊講義Ⅵ（ライフウェルネスと健康・スポーツ心理学）

## 社会福祉学研究科 福祉環境学専攻 修士課程（演習の内容・開設科目）

| | |
|---|---|
| 生活環境論<br>専門研究演習<br>宮北 隆志 | 持続可能（サステナブル）な自然共生型の健康社会を市民/NPO、事業者、行政の協働によって実現するための基本理念と技術について学び、環境や保健・福祉の領域における具体的課題に適用してみることによって、それらの意義と限界について議論します。様々なセクターの構成員（ステイクホルダー）が情報を共有し、社会的な合意形成とシナリオづくりのプロセスに参画し、新たな関係性の中で共に行動するための仕組みとしてのローカル・ガバナンスのあるべき姿を、生活者が抱える地域の課題にひきつけて考えてみたいと思います。一人ひとりの「つぶやき」や「想い」を「かたち」にできる、すべての生活者が安心して自分らしく生きることができる、そんな地域社会を実現するための地域でつくる生活福祉のあり方と、市民セクターが担う新たな公共性とは何かについて模索します。 |
| 環境マネジメント論<br>専門研究演習<br>中地 重晴 | 日本の環境問題の現状を把握するとともに、SDGs（持続可能な開発に関する2030年目標）を達成するために必要な環境政策、環境マネジメント技術について学ぶ。あわせて、予防原則、代替原則などを日本の環境政策に持ち込めるのか、日本の課題について考える。進行する地球環境問題の解決のためにブラジルの地球環境サミットから25年余が経過した。2002年のWSSDでは、「化学物質による人の健康と環境への悪影響を最小化する」という2020年目標が決議された。日本の現状を把握したうえで、2020年目標やSDGsを達成するために必要な環境政策、環境マネジメント技術と、予防原則、代替原則などEU等の先進的な環境政策について、日本での適合性を検討し、環境リスクの低減手法について考察する。 |
| 社会政策専門研究演習<br>花田 昌宣 | 現代の社会福祉政策にかかわる研究テーマを広く指導します。院生の研究課題に応じて指導します。これまで障害者の雇用と就労、開発途上国の障害者問題、医療と福祉とりわけ根拠に基づく医療（EBM）の課題と限界、部落差別と高齢者の課題、生活困窮者政策などを指導してきました。また、水俣病をはじめとする水俣学関連や公害問題については大学院生たちと共同調査してきました。国内外の社会的経済に関わる実証研究もヨーロッパ・アジアの研究者ネットワークを構築して進めています。現在の社会政策学の課題および社会福祉に関わる研究テーマをともに学んでいきます。また、ヨーロッパあるいはアジア諸国の福祉や環境にかかわる課題もとりあげます。 |
| 精神保健福祉学<br>専門研究演習<br>城野 匡 | 健康における精神保健の重要性への注目から、保健政策のなかでも精神保健サービスの拡充の機運が高まり、様々な実践がおこなわれるようになってきている。しかし、まだまだ多くの課題が残されている分野でもある。そこで、この演習では、幼児から高齢者までの幅広い精神保健学の領域の中で、学生が日常生活や実践において疑問に思ったことについて、研究テーマの設定をおこなう。そして、テーマにそった先行研究のレビューをふまえ、研究課題の設定、データの収集方法の設定、データの分析方法の設定、をおこなっていく。演習のなかでは、共同で討議をおこない、将来の精神保健における課題の解決を意識しながら、適宜研究の準備や手法、論文作成について指導をおこなう。最終的には、学生のテーマに沿って実施した調査および結果をもとに修士論文の作成を目指す。 |

【開設科目一覧】
- 社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究
- 福祉環境学フィールドワークⅠ（水俣地域・不知火海、実地調査・ワークショップ）
- 環境福祉論専門研究、演習
- 環境法学専門研究、演習
- 環境社会論専門研究、演習
- 生活環境論専門研究、演習
- 環境マネジメント論専門研究、演習
- 人権社会論専門研究、演習
- 社会政策専門研究、演習
- 環境生命学専門研究、演習
- 精神保健福祉学専門研究、演習
- ソーシャルワーク・リサーチ専門研究、演習
- ライフウェルネスと健康・スポーツ心理学専門研究、演習
- スポーツ社会学専門研究
- 健康教育学専門研究
- 福祉環境学フィールドワークⅡ（国内公害発生地域臨地研修）
- 福祉環境学フィールドワークⅢ（海外公害発生地域臨地研修）
- 社会調査方法論専門研究
- 環境社会学専門研究
- 環境経済学専門研究
- 環境生態学専門研究
- 開発と環境専門研究
- 海外環境事情専門研究